

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2024年11月号)

2024年11月26日



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

1. 今月のトピックス

- ・(DBJ・JTBF) アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2024年度版 全国 外国人 . . . [P.2～6](#)
- ・神戸観光局SNS情報 神戸 国内 [P.7～8](#)

2. 市内宿泊の動向

- ・国内OTAデータ モニタリング速報 神戸 国内 [P.9～13](#)

3. 市内宿泊の動向②

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市）[推計値] 神戸 全国 関西 国内 外国人 . . . [P.14～19](#)
- ・市内ホテル平均稼働率 神戸 [P.20](#)

4. 全国のインバウンドに関する情報

- ・2024年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 全国 外国人 [P.21～23](#)

5. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 関西 [P.25](#)
- ・関西国際空港 国際線入国状況 関西 外国人 [P.26](#)
- ・旅客ターミナル クルーズ船寄港実績 神戸 [P.27～28](#)
- ・【クルーズ船】12月の入港予定情報 神戸 [P.29](#)

6. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・市内観光案(国内)観光客案内件数、(訪日)国籍別対応状況、最新対応概況 神戸 国内 外国人 [P.31～33](#)
- ・主要市内観光施設来場者数 神戸 [P.34](#)
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報 (12～2月) 神戸 [P.35～37](#)

- 参考資料集 [P.38～](#)

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス①

(DBJ・JTBF)

アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査
2024年度版

(1) 調査概要

・毎年実施されているDBJ（日本政策投資銀行）・JTBF（日本交通公社）の「アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」について、最新の2024年度調査の一部をご紹介します。（調査結果詳細は、出典元よりご確認ください。）

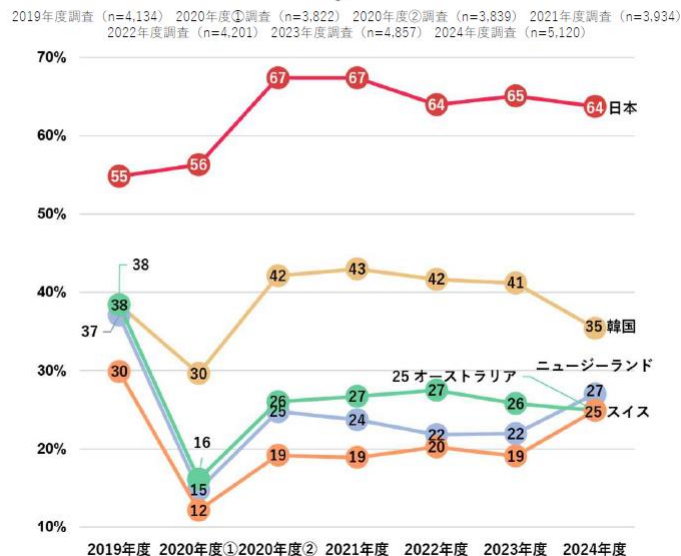
- ◆ 実施期間 2024年7月8日(月)～2024年7月18日(木)
- ◆ 調査地域 アジア：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス（12ヶ国・地域）
- ◆ 対象者 20歳～79歳の男女、かつ、海外旅行経験者（上記各地域に居住する住民計7,796人）

(2) 調査結果

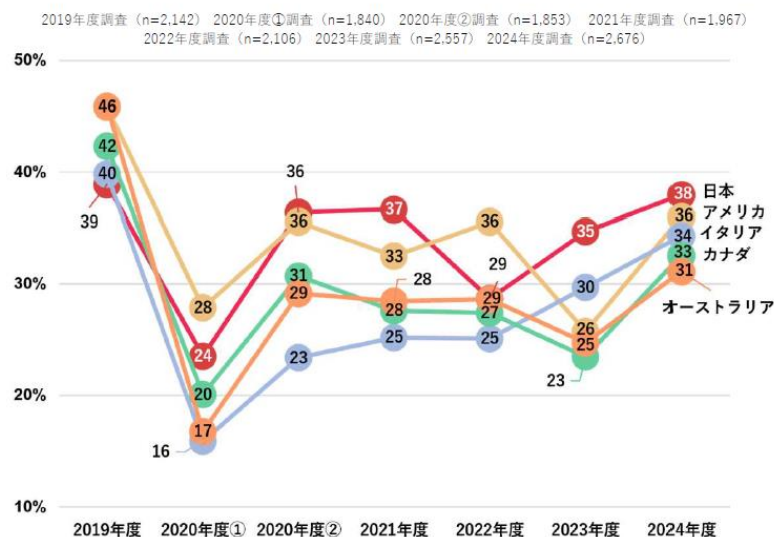
■ 「次に観光旅行したい国・地域」 日本が1位に

- ・アジアでは、引き続き次の旅行先として日本は圧倒的な人気を誇っている。
- ・欧米豪でも日本の人気は高いものの、アメリカ、イタリア、カナダ等とあまり差はない。

アジア居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移



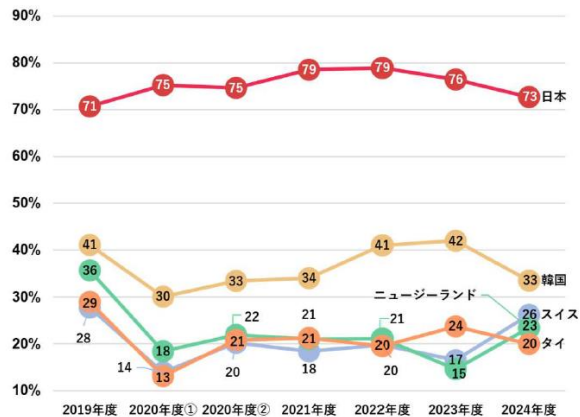
欧米豪居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移



「次に観光旅行したい国・地域」 <アジア>

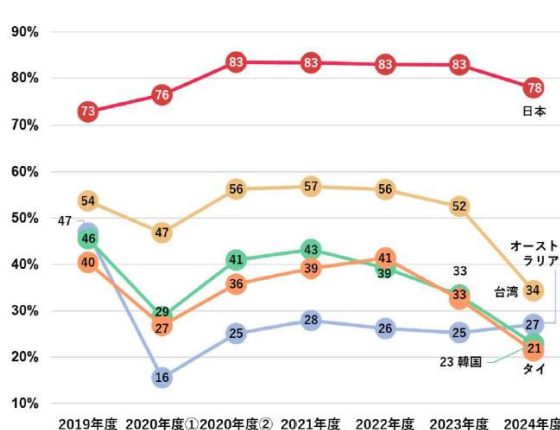
台湾居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=508) 2020年度①調査 (n=489) 2020年度②調査 (n=461) 2021年度調査 (n=494)
2022年度調査 (n=512) 2023年度調査 (n=624) 2024年度調査 (n=645)



香港居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=492) 2020年度①調査 (n=470) 2020年度②調査 (n=459) 2021年度調査 (n=491)
2022年度調査 (n=527) 2023年度調査 (n=602) 2024年度調査 (n=647)



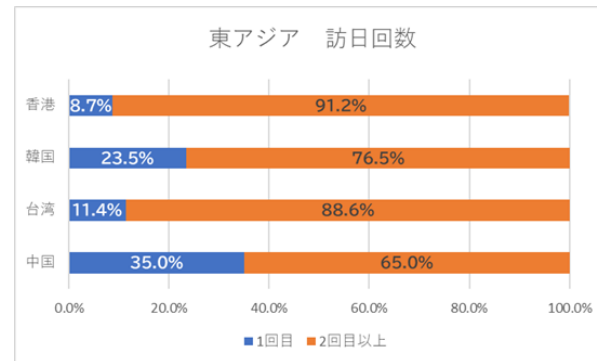
韓国居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=523) 2020年度①調査 (n=466) 2020年度②調査 (n=487) 2021年度調査 (n=492)
2022年度調査 (n=517) 2023年度調査 (n=603) 2024年度調査 (n=671)



シンガポール居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=524) 2020年度①調査 (n=468) 2020年度②調査 (n=487) 2021年度調査 (n=466)
2022年度調査 (n=521) 2023年度調査 (n=636) 2024年度調査 (n=640)



▲出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査 (2023年 年次報告書)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001742979.pdf>

・ 訪日リピーターの割合が高い、台湾・香港では、日本は圧倒的な人気を誇る。なお、観光庁 訪日外国人消費動向調査 (2023年) によると、台湾・香港の訪日客のうち、約9割が訪日リピーターである。

・ その他アジアの国でも日本人気は根強い。左図は韓国・シンガポールの結果を掲載しているが、2位と約20ポイント近くの差がある。

■ 「次に観光旅行したい国・地域」 <欧米豪>

- ・一方、欧米豪で日本人気が抜きん出ているのは、オーストラリアのみ。
- ・日本の外客数統計・延べ宿泊者数統計では数字を伸ばしているアメリカだが、現在イタリアの人气が上昇中。またニュージーランドの人气が上昇したことから、日本はニュージーランドに次いで3位となった。

アメリカ居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=532) 2020年度①調査 (n=456) 2020年度②調査 (n=448) 2021年度調査 (n=497)
2022年度調査 (n=524) 2023年度調査 (n=632) 2024年度調査 (n=701)

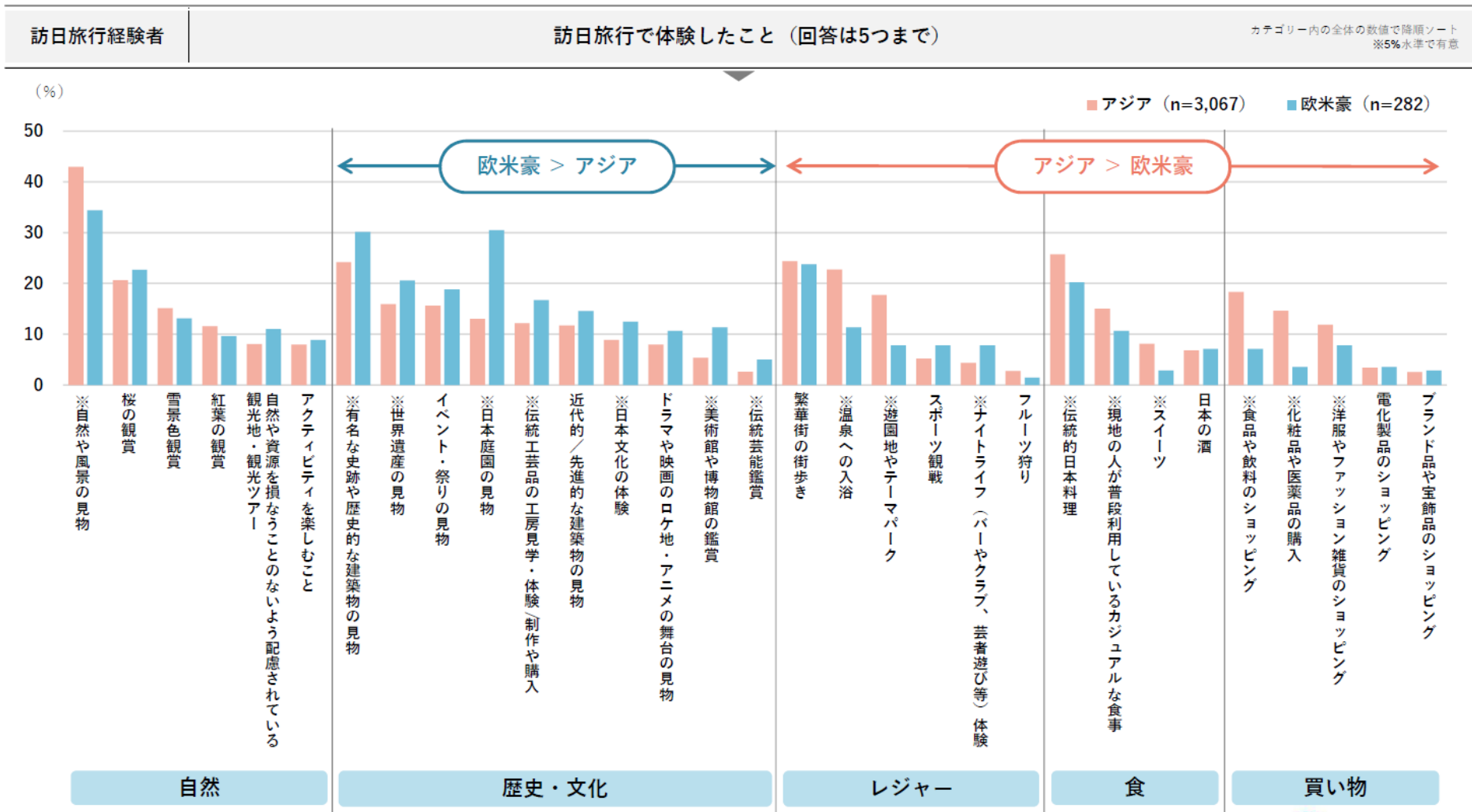


オーストラリア居住者が次に観光旅行したい国・地域
2024年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=538) 2020年度①調査 (n=462) 2020年度②調査 (n=462) 2021年度調査 (n=479)
2022年度調査 (n=526) 2023年度調査 (n=616) 2024年度調査 (n=636)



■ 訪日旅行で体験したいこと／体験したこと



自然関連の体験は「自然や風景の見物」を除き、アジアと欧米豪による実施率の大きな差は見られない。
総合的に、アジアでは、レジャーや食、買い物関連の体験、欧米豪では歴史・文化関連の体験が人気となっている。

今月のトピックス②

神戸観光局SNS情報



昨年(2022年)の12月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

12月
ライトアップ&
イルミネーション

↑ いいね数 順位

BEST 1



2023/12/22

BEST 2



2023/12/18

BEST 3



2023/12/05

BEST 4



2023/12/20

BEST 5



2023/12/07

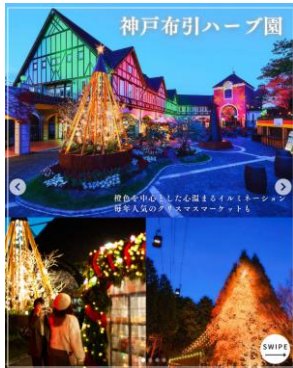
2023年12月

2023年12月はクリスマス控え夜景やイルミネーションを紹介するコンテンツが多く、特に神戸ポートタワーのライトアップ再開にいいねが集中した。

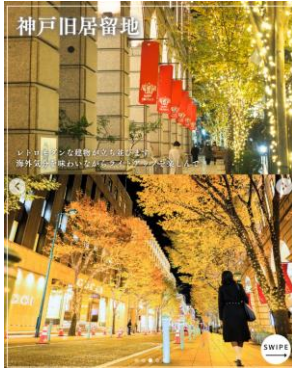
- 1位⇒「おかえり神戸ポートタワー」が1位。リニューアルオープンに先立ちライトアップが再開。神戸のランドマークが再点灯し神戸の夜景が華やかに。12/20-29に開催するメリケンパークを彩る「メヤメヤ」もアピールしていた。
- 2位⇒「神戸の隠れ夜景スポット」の紹介。神戸市役所1号館・24階展望ロビーをPR。地上約100mから神戸の海・山・街を一望できる。
- 3位⇒「神戸イルミネージュ」(神戸フルーツ・フラワーパーク)光あふれる秘密の庭園で関西最大級のイルミネーションを楽しむコンテンツ。
- 4位⇒「KOBETOんぼ玉ミュージアム」国内外のガラス工芸品が集う店内やとんぼ玉の製作体験ができる様子を動画で紹介するコンテンツです。
- 5位⇒「神戸港の夜景とディナー」神戸港をのぞむ絶好のロケーションでこだわりの料理を堪能できるレストラン「シンクロ」を紹介するコンテンツ。

その他の投稿

神戸の夜を彩るイルミネーション4選



①神戸布引ハーブ園



②神戸旧居留地



③神戸ハーバーランドumie



④神戸国際会館SOL

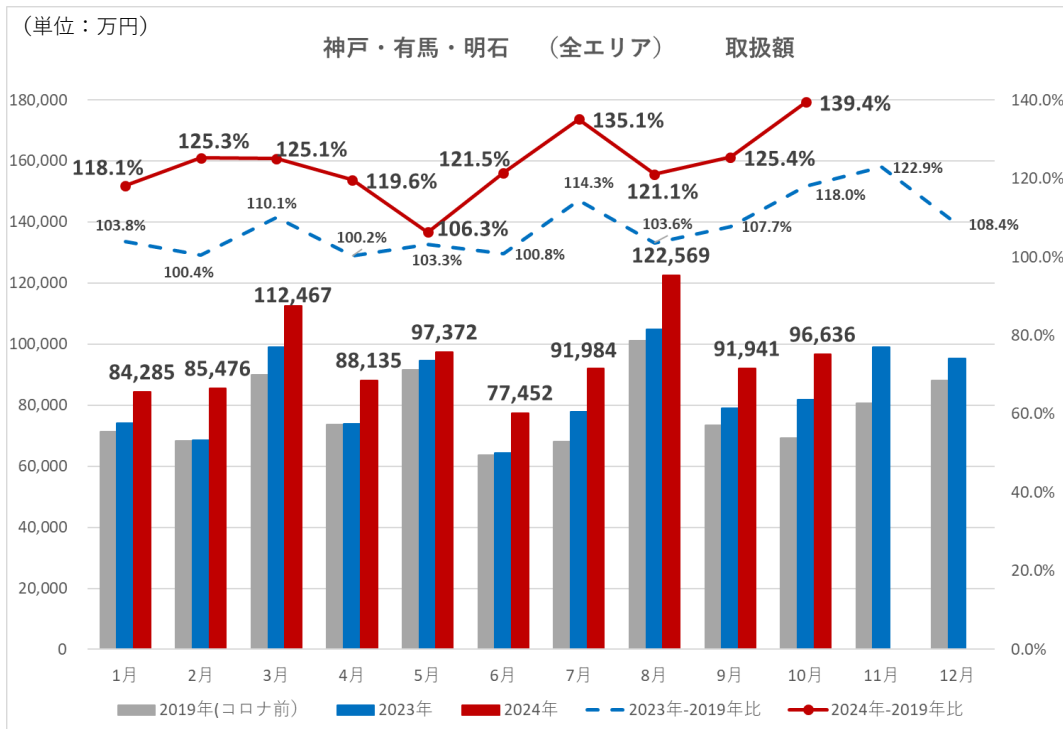
市内宿泊の動向

国内OTAデータ モニタリング速報

10月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 139.4%、人泊数：115.6%、単価：120.6%。

- エリア別にみると有馬では、2019年比で客単価が高い状態が続く。なお、本国内OTA上では、有馬の客室平均単価は、現在温泉エリアで日本一。そのため、有馬にあっては、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がある。10月以降は紅葉シーズンに入り、人泊数の回復も見込める。
- 市街地は10月のデータ上、単価がさらに伸びており、2019年同月比1.2倍。また人泊数も一層かなり回復したように見えるが、2019年10月はラグビーWCが開催されていた時期であり、インバウンド増加に伴い相対的に国内旅行者が減少していたため、今年10月の国内旅行者が多いように見えていると推測。
- 国内OTAのデータということもあり、全市データは、市街地のいわゆるビジネス利用者／長期休暇にはファミリー層の影響が出やすい。

【取扱額 実績】



【エリア別・2019年同月比】

	8月	9月	10月
全市			
取扱額	121.1% (103.6%)	125.4% (107.7%)	139.4% (118.0%)
人泊数	105.1% (96.4%)	107.9% (99.5%)	115.6% (108.0%)
単価	115.2% (107.5%)	116.2% (108.3%)	120.6% (109.3%)
市街地			
取扱額	123.5% (106.7%)	123.1% (110.1%)	141.0% (121.2%)
人泊数	105.1% (99.7%)	103.9% (99.7%)	114.2% (112.1%)
単価	117.5% (107.1%)	118.5% (110.5%)	123.5% (108.1%)
有馬			
取扱額	106.6% (92.5%)	109.1% (91.7%)	122.5% (107.2%)
人泊数	90.7% (81.8%)	91.9% (81.0%)	105.0% (93.2%)
単価	117.6% (113.1%)	118.7% (113.1%)	116.7% (115.0%)

黒太字は2024年-2019年比

()内は同時点の前年(2023年)-2019年比

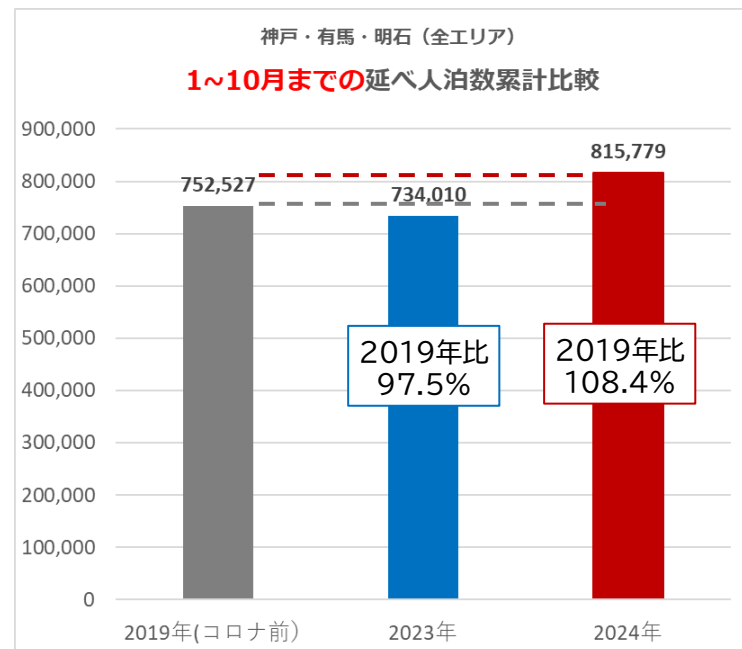
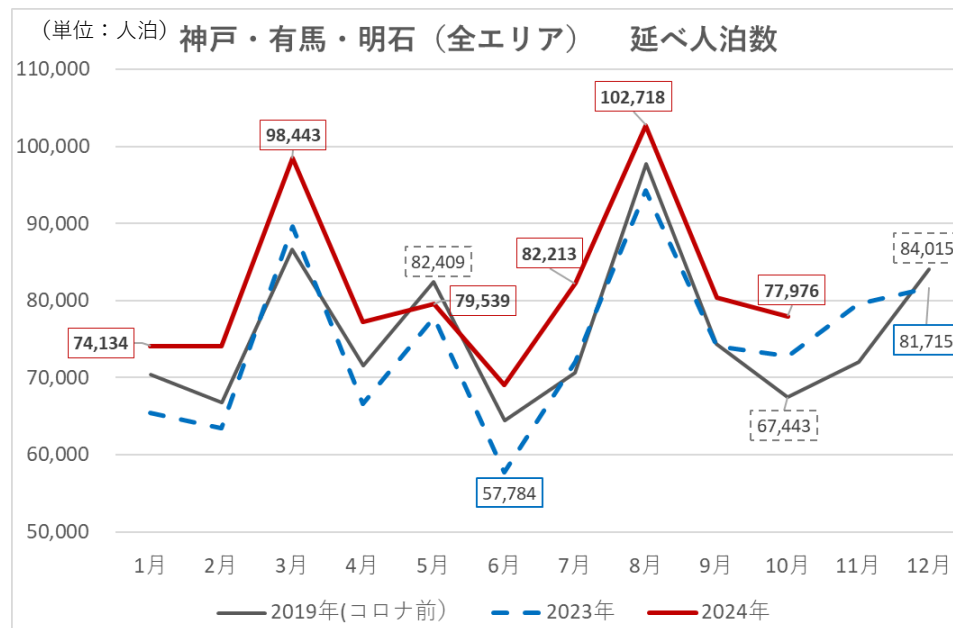
※「市街地」：三宮・ポートアイランド・元町・メリケンパークのエリアを抽出

【OTAデータの特徴】

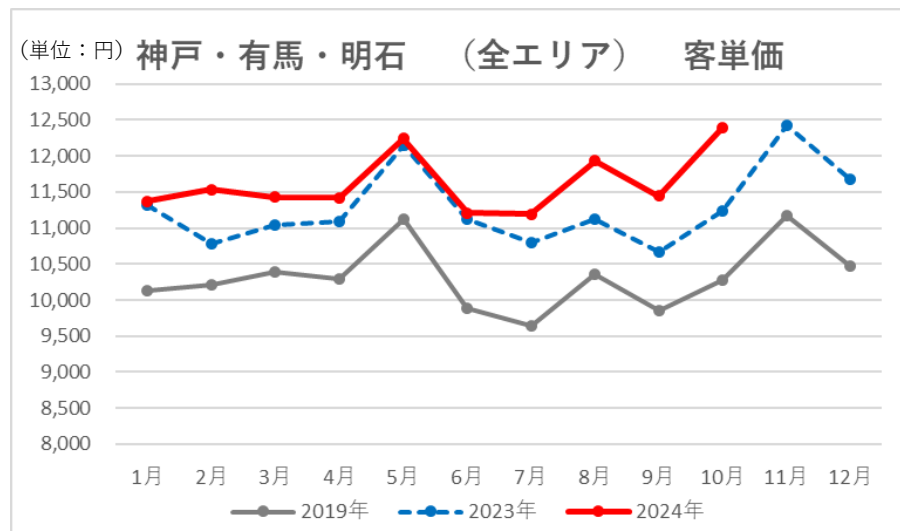
OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるるぶトラベル等。近年は、国内でも、国内OTAに加え、海外OTA (booking.com、Expedia、agoda、Trip.com等) を利用する旅行者も増えている。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近はパソコンではなくスマホからの利用(予約)が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアの国内OTAの利用者数は1368万人(対前年比177%)と成長している。一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店(リアルエージェント)からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直接予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ(チェックアウトベース)となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

【延べ人泊数 実績】



【平均客単価 実績】



【2023年】

- ・通年で平均客単価の高止まりが続いていた状態。
- ・人泊数は2019年の季節変動値に近い数値で推移。10月以降は2019年を上回る勢いを見せた。

【2024年】

- ・5月はGWに苦戦したという声があったものの、6月以降は人泊数・単価ともに2019年を上回った。
- ・今年のGWの傾向から、全国的な訪日需要の高まりから宿泊単価が上がっており、国内旅行者の動きが、単価が高く、かつ人出の多くなる時期を避けた旅行へシフトしつつあることも考えられる。
- ・10月は2019年同月より人泊数がかなり回復したように見えるが、2019年10月はラグビーWCが開催されていた時期であり、インバウンド増加に伴い相対的に国内旅行者が減少していたため、今年10月の国内旅行者が多いように見えていると推測。

【予約情報：① 予約スピード】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	155.4%	172.3%	193.4%	231.4%	281.0%	229.4%
	2023年度比 (11.10時点)	116.1%	134.1%	140.0%	132.6%	146.6%	174.8%

有馬		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	135.8%	153.4%	163.4%	246.8%	244.9%	278.6%
	2023年度比 (11.10時点)	118.4%	131.7%	137.8%	137.0%	151.8%	153.9%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	161.7%	169.0%	214.3%	201.6%	280.0%	168.5%
	2023年度比 (11.10時点)	116.9%	134.9%	141.0%	125.0%	135.1%	174.2%

【参考：他エリア比較】〔取扱額〕

淡路島		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	156.4%	179.2%	179.0%	259.8%	279.3%	330.2%
	2023年度比 (11.10時点)	112.4%	121.6%	109.8%	97.5%	116.8%	113.8%

城崎		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	120.3%	130.5%	151.6%	181.7%	240.0%	340.4%
	2023年度比 (11.10時点)	103.1%	113.7%	112.8%	101.2%	112.0%	96.0%

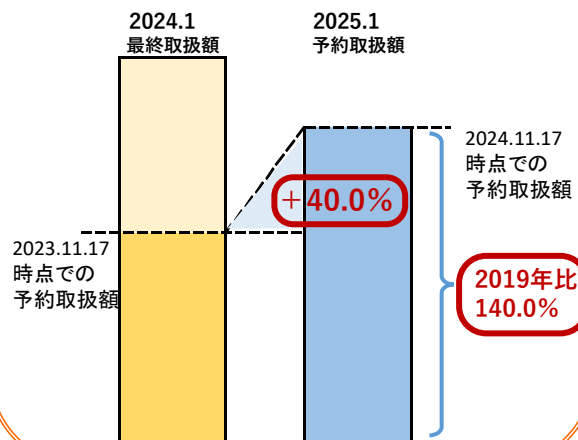
大阪市エリア		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	180.9%	228.2%	196.4%	280.8%	312.2%	633.9%
	2023年度比 (11.10時点)	107.9%	127.9%	123.7%	152.3%	140.8%	231.4%

京都市エリア		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	139.9%	196.4%	180.4%	209.6%	210.9%	235.3%
	2023年度比 (11.10時点)	102.8%	125.2%	124.3%	115.1%	109.5%	167.4%

東京23区エリア		11月	12月	1月	2月	3月	4月
予約 スピード	2019年度比 (11.10時点)	152.9%	193.2%	224.0%	247.1%	304.3%	276.5%
	2023年度比 (11.10時点)	109.3%	116.5%	130.1%	128.9%	161.9%	174.1%

国内OTA 予約データの見方①

(例) 全市 2025年1月



このページは、国内OTA予約データの、**予約のスピード感を確認するデータ**です。

■引き続き11月以降の予約スピードが好調。なお、既に2023年秋以降は全国的にも神戸市内でも、国内の延べ宿泊者数はコロナ前水準に戻っていたことから、予約データについては今月号から前年度との比較に着目している。

【予約情報：②過去の最終実績と現在の取扱額の比較】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		11月	12月	1月	2月	3月	4月
最終実績との比較	2019年度比 (11.10時点)	138.3%	90.9%	57.4%	26.4%	25.7%	7.4%
	2023年度比 (11.10時点)	112.6%	83.9%	51.5%	20.0%	10.9%	7.4%

有馬		11月	12月	1月	2月	3月	4月
最終実績との比較	2019年度比 (11.10時点)	133.9%	97.5%	49.9%	20.2%	13.9%	4.7%
	2023年度比 (11.10時点)	118.2%	101.2%	54.1%	18.0%	9.5%	5.3%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		11月	12月	1月	2月	3月	4月
最終実績との比較	2019年度比 (11.10時点)	138.2%	84.6%	62.3%	30.9%	44.2%	10.3%
	2023年度比 (11.10時点)	112.2%	77.4%	51.3%	22.2%	12.6%	9.3%

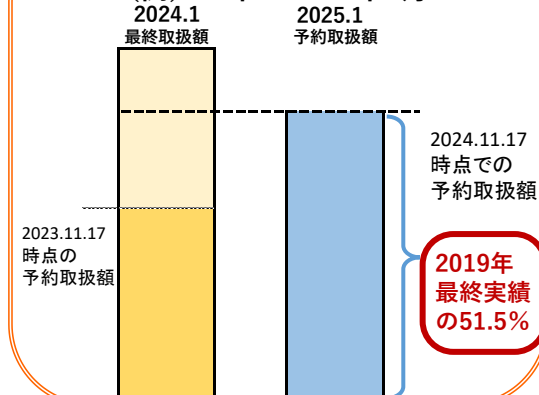
淡路島		11月	12月	1月	2月	3月	4月
最終実績との比較	2019年度比 (11.10時点)	153.0%	113.3%	67.8%	27.4%	18.0%	8.1%
	2023年度比 (11.10時点)	108.5%	92.1%	52.2%	21.5%	11.2%	7.3%



このページは、国内OTA予約データについて、**現在の取扱額と、2019年や前年の同月最終実績を比較するデータ**です。

国内OTA予約データの見方②

(例) 全市 2025年1月

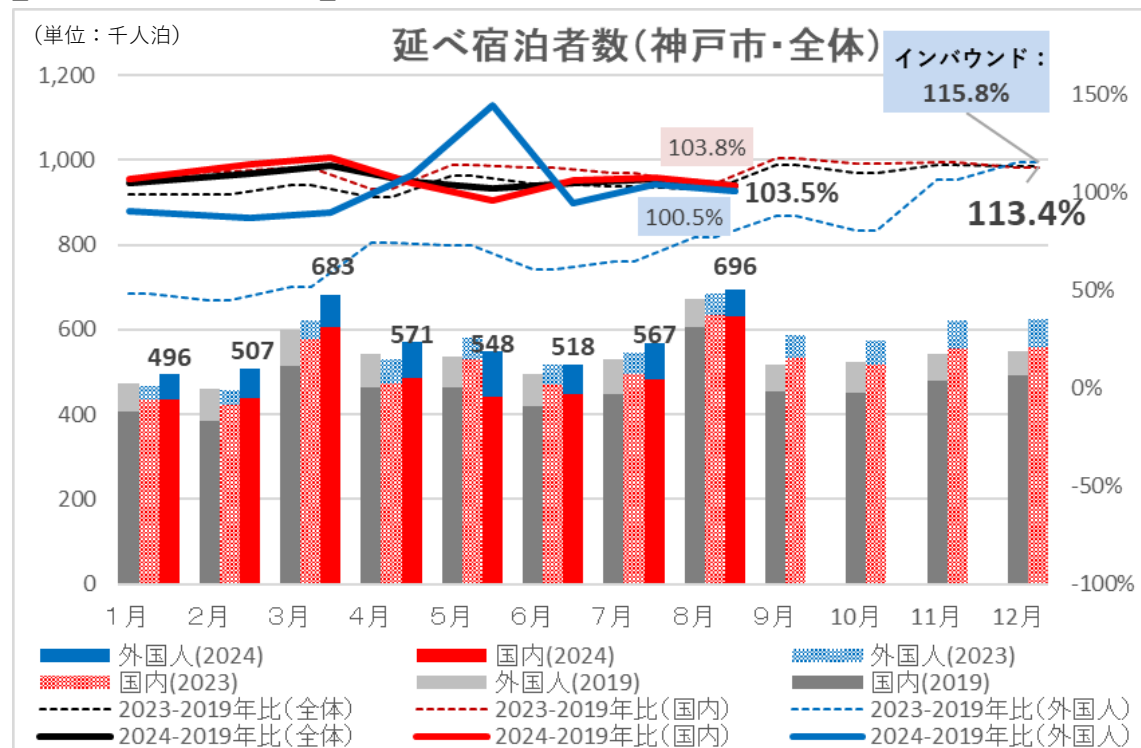


■11月の予約取扱額はすでに前年も2019年も超えており、各月最終実績との比較でも、12月も2019年や2023年の9～8割まで取扱額が伸びている。(例：2024/8/18の時点で、2024年9月 最終実績との比較：67%。この数値と比較すると12月は好調であることが分かる。)

市内宿泊の動向②

延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率

【神戸市・全体】



出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年8月 第2次速報値

※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

(参考)

兵庫県	コロナ前比	105.7% (8月)
全国	コロナ前比	102.8% (8月)

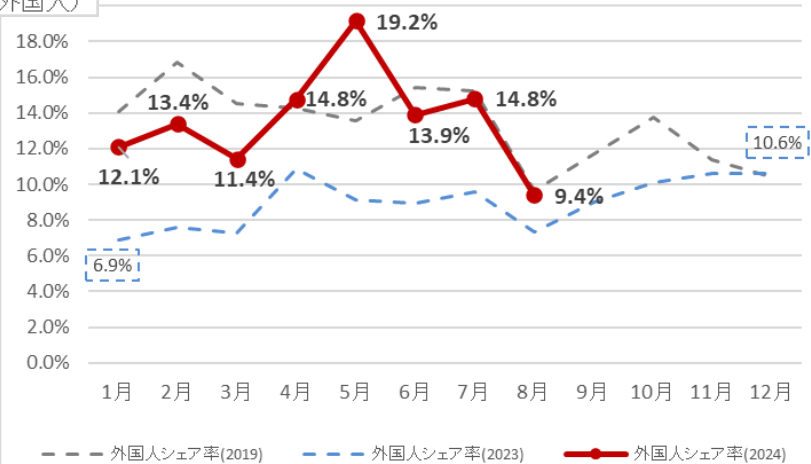


傾向・分析

8月は全体(国内・インバウンドの合計)でコロナ前の103%。国内がコロナ前の103%、インバウンドは100%

- 神戸市全体延べ宿泊者数は1月以降コロナ前を超えて回復。全体に占めるインバウンドのシェア率は4月以降、2019年並みに回復。
 - ただしコロナ前と比較すると客室数が増えているエリアもあり、市内の稼働率を回復させるためにも、更なる誘客を考えていく必要がある。
 - 夏休み期間は地震や台風など災害も多く、8月は国内、インバウンドともにコロナ前(2019年比)とほぼ同水準。
- ※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

延べ宿泊者数(全国・外国人シェア率)

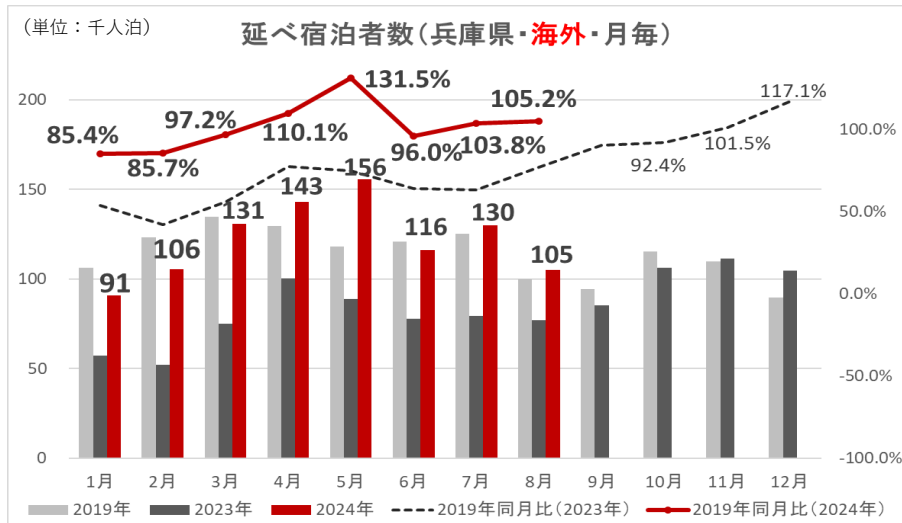


延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析①】

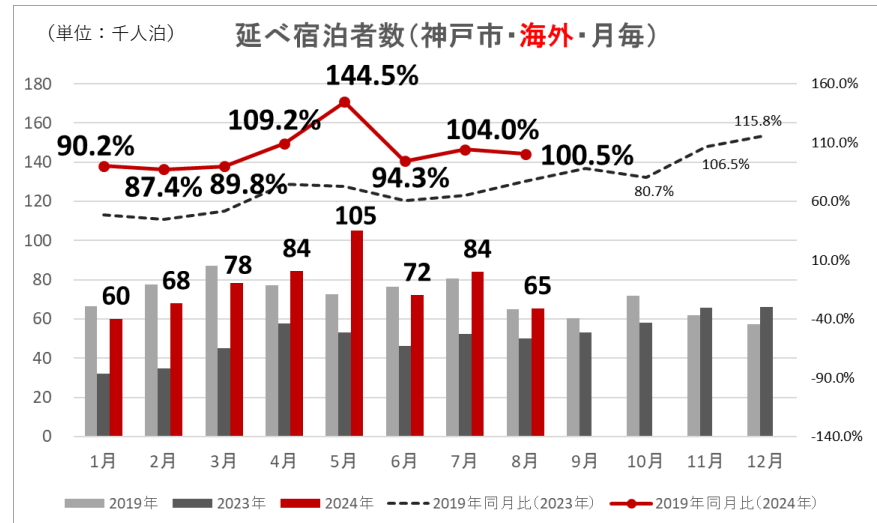
神戸 全国 外国人



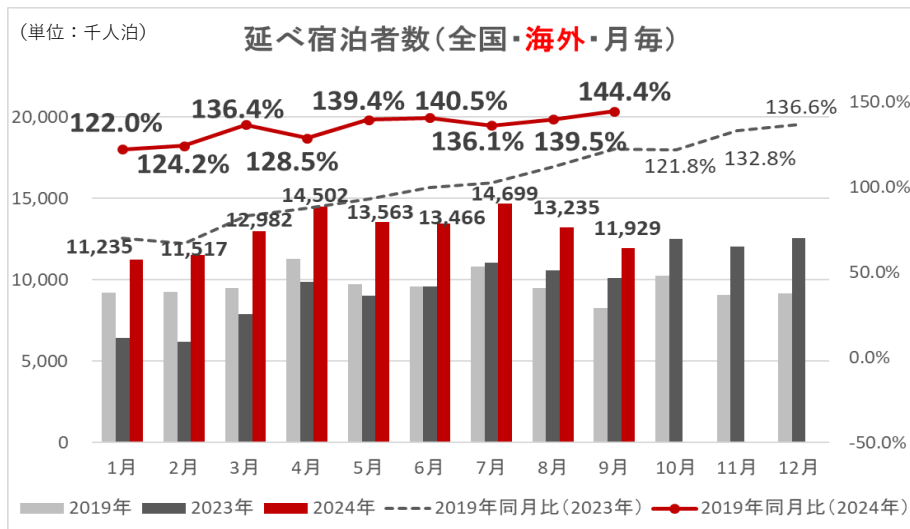
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



8月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	100.5% (8月)
兵庫県	コロナ前比	105.2% (8月)
全国	コロナ前比	139.5% (8月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較



神戸：8月はコロナ前の100%となった。

■ 神戸観光局の独自試算では、神戸市の回復率(コロナ前比)は8月が100.5%となり、コロナ前(2019年)と同水準まで回復。夏休み期間であるため、8月は、数としてはインバウンドが少ない時期となる。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和6年8月 第2次速報値

・令和6年9月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

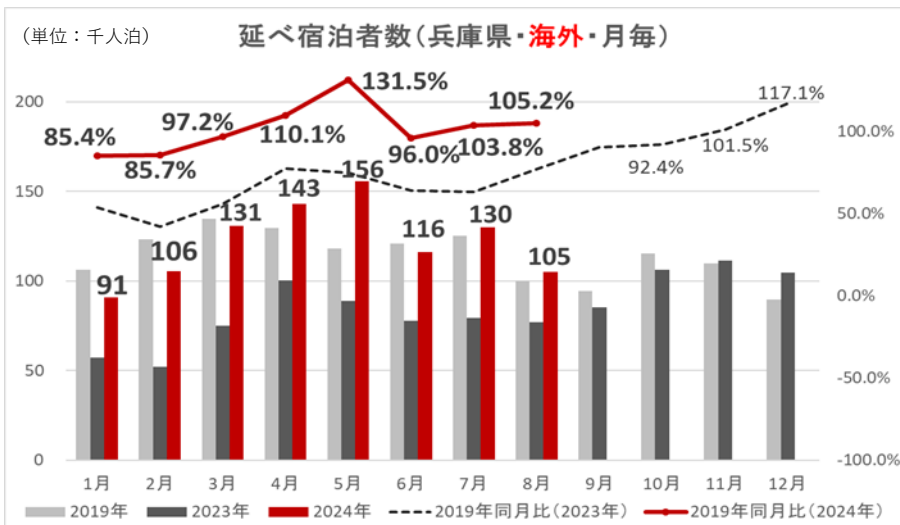
延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析②(周辺比較)】

関西

外国人



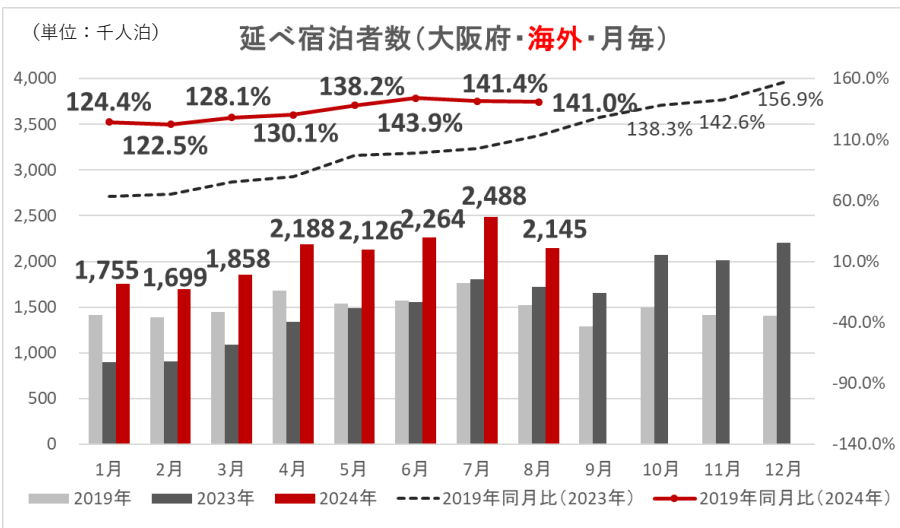
【兵庫県】



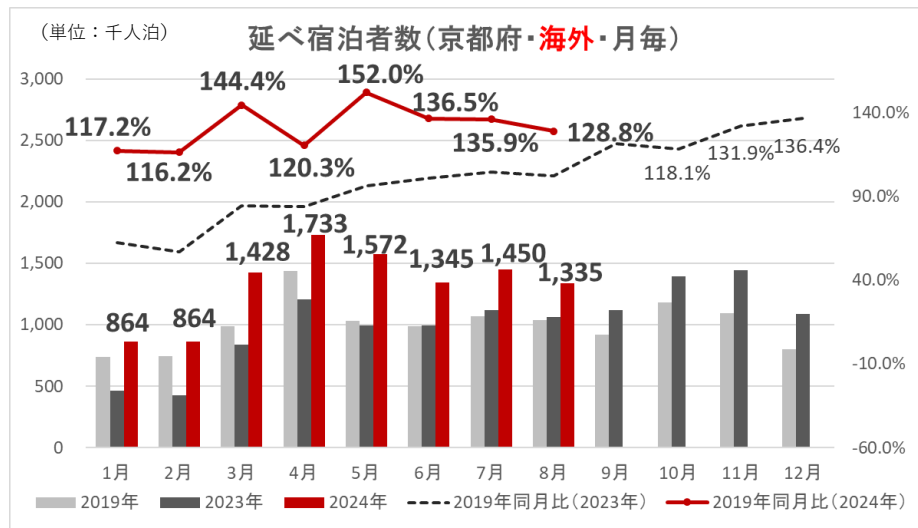
8月の傾向・分析

兵庫県	コロナ前比	105.2% (8月)
大阪府	コロナ前比	141.0% (8月)
京都府	コロナ前比	128.8% (8月)

【大阪府】



【京都府】



出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年8月 第2次速報値

[👉 全国・周辺エリアの国籍分析は次ページへ](#)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕 国籍分析

全国 関西 外国人



【全国】

全国	8月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	26.0%	88.6%
第2位	台湾	14.4%	142.6%
第3位	韓国	12.3%	234.5%
第4位	米国	8.1%	178.2%
第5位	香港	6.3%	116.2%
第6位	イタリア	2.9%	179.3%
第7位	スペイン	2.1%	149.8%
第8位	フランス	2.0%	125.8%
第9位	オーストラリア	1.9%	193.9%
第10位	英国	1.7%	159.0%

8月の傾向・分析

中国以外の国はコロナ前を超える。中国もコロナ前水準に近づくほど回復。

■ **全国**: 1位 中国、2位 台湾、3位 韓国。

上位5カ国・地域で全体の67.2%を占める。夏休み期間の東アジアが好調。ただし、米国も引き続きコロナ前の2倍近い水準を維持し続けている。

■ **兵庫県**: 第1位: 中国、第2位: 台湾、第3位: 香港。中国・台湾だけで53.6%を占める。

他の関西圏と比較して香港のシェアが高くなりつつある。

■ **大阪府**: 第1位: 中国、第2位: 韓国、第3位: 台湾。2位は引き続き韓国がランクイン。

■ **京都府**: 第1位: 中国、第2位: 米国、第3位: 台湾。米国好調の影響を関西で最も受けている。

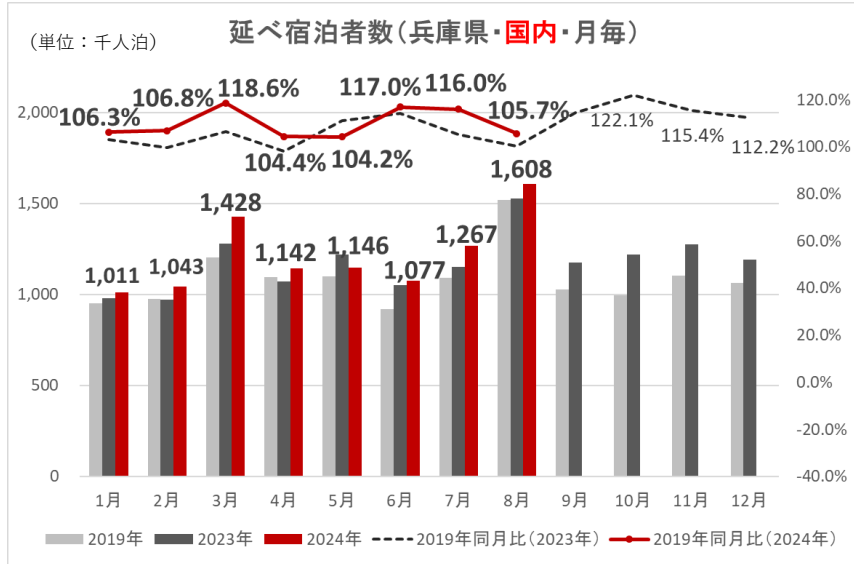
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」・令和6年8月 第2次速報値

兵庫県	8月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	28.4%	
第2位	台湾	25.2%	
第3位	香港	10.2%	
第4位	韓国	9.2%	
第5位	米国	3.8%	
第6位	フランス	3.2%	
第7位	英国	1.5%	
第8位	ドイツ	1.5%	
第9位	イタリア	1.4%	
第10位	カナダ	1.2%	

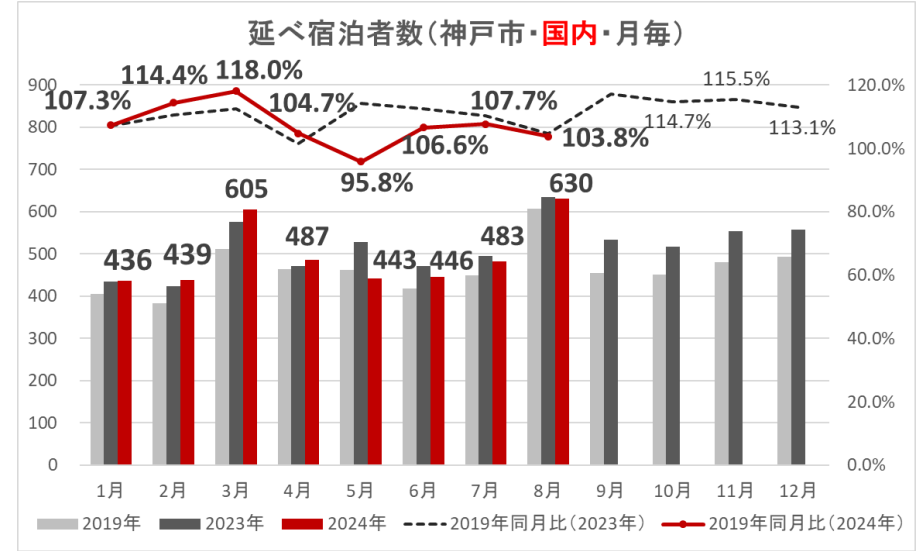
大阪府	8月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	36.9%	
第2位	韓国	13.8%	
第3位	台湾	12.4%	
第4位	香港	5.9%	
第5位	米国	4.4%	
第6位	オーストラリア	1.7%	
第7位	イタリア	1.6%	
第8位	スペイン	1.5%	
第9位	フランス	1.4%	
第10位	英国	1.3%	

京都府	8月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	26.3%	
第2位	米国	10.5%	
第3位	台湾	9.2%	
第4位	イタリア	7.8%	
第5位	スペイン	5.7%	
第6位	フランス	3.6%	
第7位	香港	3.4%	
第8位	韓国	3.2%	
第9位	オーストラリア	2.2%	
第10位	英国	2.2%	

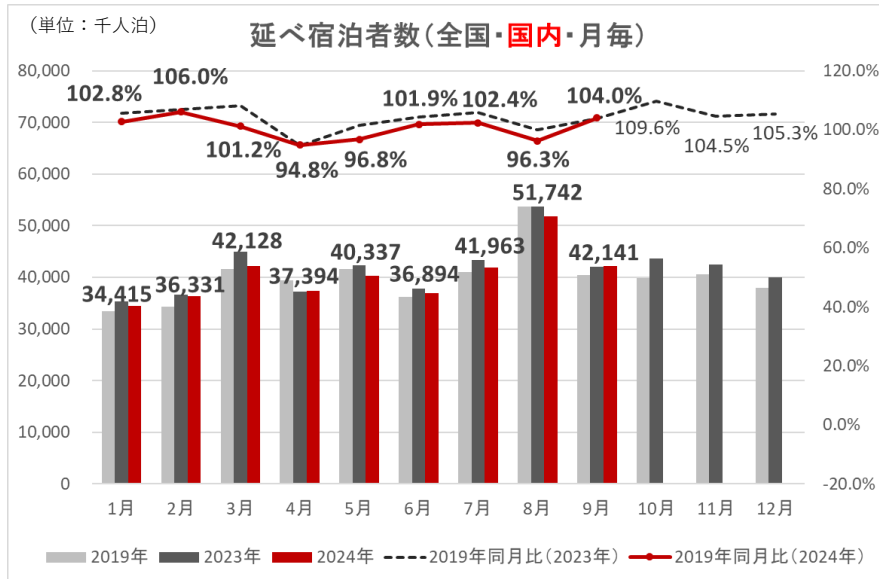
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



8月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	103.8% (8月)
兵庫県	コロナ前比	105.7% (8月)
全国	コロナ前比	96.3% (8月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

神戸：国内は2019年比 103.8%

■ 8月は夏休み期間であるが、8月8日発生 of 地震による南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)や、8月下旬の台風10号の影響により、キャンセルが多く発生。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

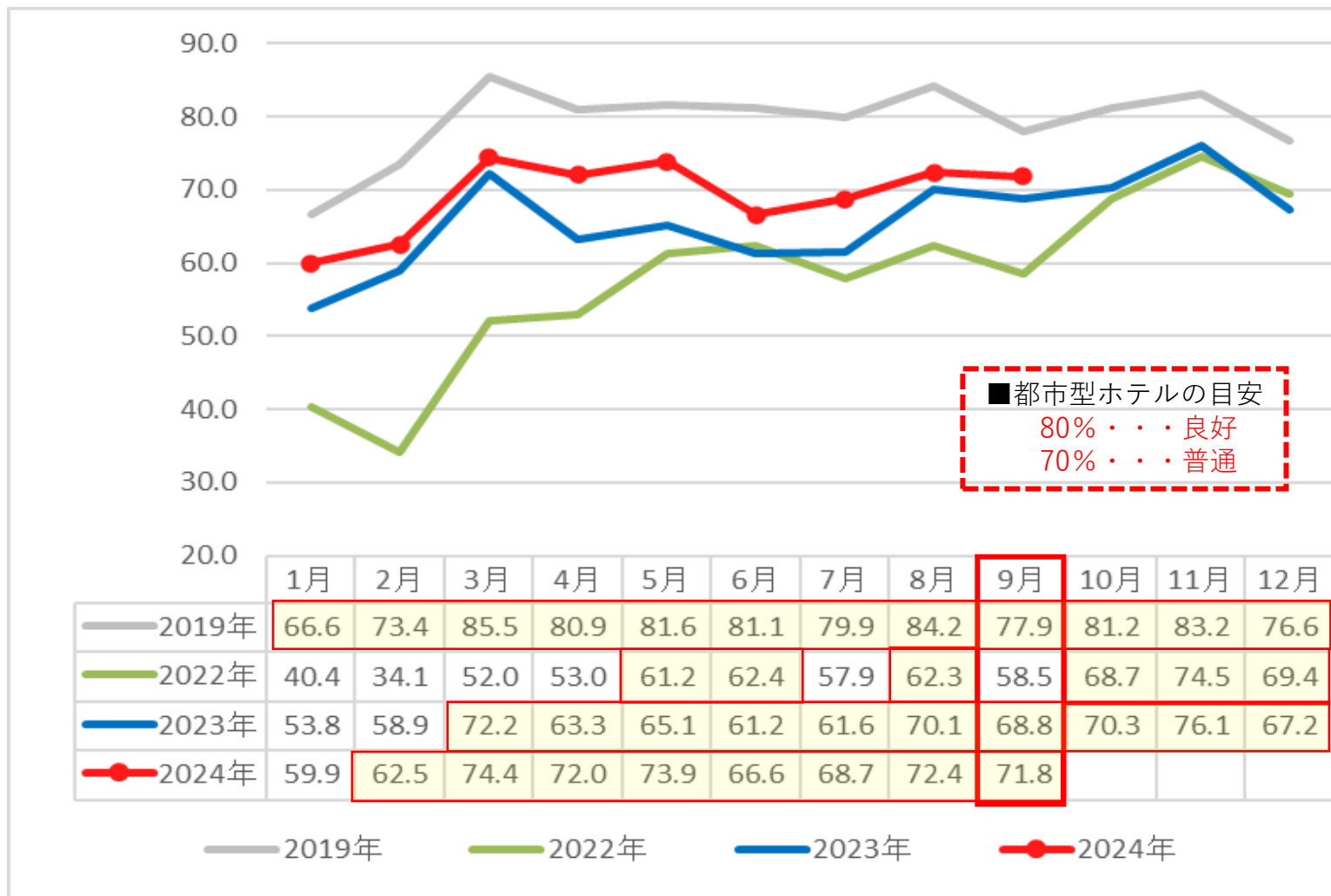
・令和6年8月 第2次速報値

・令和6年9月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

市内ホテル平均稼働率

神戸



■都市型ホテルの目安
80%・・・良好
70%・・・普通

※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
9月 国内ホテル稼働率

全国：75.7%
(前月比 ±0.7pt)

STRがまとめた9月の国内ホテルの平均客室単価は1万9381円で、前年同月を12.6%上回った。訪日客が必要をけん引した。1996年の調査開始以降、9月としては最高。東京、大阪、京都など訪日客の多い地域が単価を押し上げた。9月は3連休が2回あり、いずれの連休初日も訪日客は前年比で31.5%増えた。3連休は大型連休と比べて客室単価の上昇率が低く、日本人の宿泊への影響は限定的だったもようだ。平均稼働率は前年同月比で0.1ポイント高い75.7%だった。8月下旬の台風で飛行機の欠航や新幹線の運休が長引き、一時的に稼働率が50%台まで落ち込む日があったため、平均稼働率は前年並みだった。一方、3連休初日にあたる9月14日の稼働率は88.6%で、今年9月の中で最も高い日次稼働率を記録した。

全国のインバウンドに関する情報

訪日外客数

2024年月別訪日外客数(対2019年比)

全国 外国人

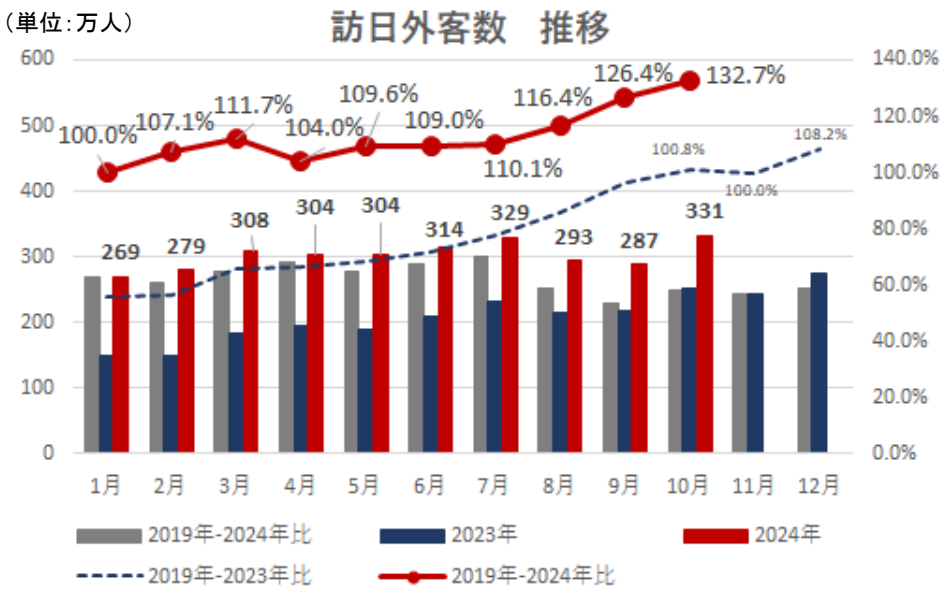


訪日外客数(全国)			
	2019	2024	2019比
8月	2,520,134名	2,933,381名	116.4%
9月	2,272,883名	2,872,200名	126.4%
10月	2,272,883名	3,312,000名	132.7%

・10月の訪日外客数は、3,312,000人で、前年同月比では31.6%増、2019年同月比では32.7%増と、過去最高であった2024年7月の3,292,602人を上回り、単月過去最高を記録した。

・1964年の統計開始以来、過去最速で3,000万人を突破した。

訪日外客数 Visitor Arrivals			
	2019	2024	伸率 Change %
1	2,689,339	2,688,478	0.0
Jan.	(2,345,029)	(2,386,640)	(1.8)
2	2,604,322	2,788,224	7.1
Feb.	(2,341,479)	(2,548,085)	(8.8)
3	2,760,136	3,081,781	11.7
Mar.	(2,411,650)	(2,771,105)	(14.9)
4	2,926,685	3,043,003	4.0
Apr.	(2,640,569)	(2,763,384)	(4.7)
5	2,773,091	3,040,294	9.6
May	(2,455,865)	(2,758,219)	(12.3)
6	2,880,041	3,140,642	9.0
Jun.	(2,614,533)	(2,913,631)	(11.4)
7	2,991,189	3,292,602	10.1
Jul.	(2,713,329)	(3,055,187)	(12.6)
8	2,520,134	2,933,381	16.4
Aug.	(2,206,746)	(2,646,445)	(19.9)
9	2,272,883	2,872,200 *	26.4 *
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568	3,312,000 *	32.7 *
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274		
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~10	26,914,388	30,192,600 *	12.2 *
Jan.-Oct.	(23,819,687)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		



訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。
()内は総数のうちの観光客数

2022.6.10～ 添乗員付きパッケージ ツアーに限定した訪日観光が再開。
 9/7～ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージ ツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
 10/11～ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。
 2023.4.29～ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。
 ○水際対策(厚労省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO)11/20プレスリリース「訪日外客数(2024年10月推計値)」

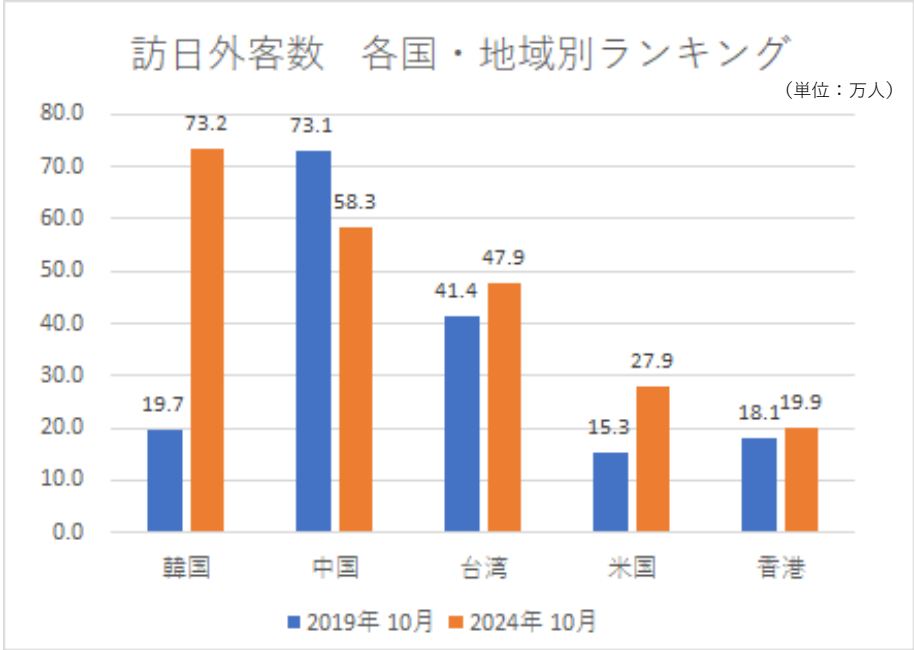
2024年10月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

全国 外国人



国・地域	総数				2024 総数			
	2019年 10月	2024年 10月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～10月	2024年 1月～10月	(順位)	2019比 (%)
韓国	197,281人	732,100人	(1位)	371.1%	5,131,596人	7,200,800人	(1位)	140.3%
中国	730,631人	582,800人	(2位)	79.8%	8,133,209人	5,830,500人	(2位)	71.7%
台湾	413,701人	478,900人	(3位)	115.8%	4,150,231人	5,064,800人	(3位)	122.0%
米国	153,363人	278,500人	(4位)	181.6%	1,430,370人	2,238,600人	(4位)	156.5%
香港	180,562人	198,800人	(5位)	110.1%	1,841,448人	2,170,700人	(5位)	117.9%

韓国が2019年比約371%で推移している。2019年は日韓情勢の悪化等により訪日旅行控えの動きが出ていたことに加え、2024年10月は仁川～鹿児島間の増便、釜山～松山間の増便、釜山～中部間の増便等の他、仁川～熊本間、清州～帯広間等でのチャーター便運航の影響もあり、2019年の訪日外客数を大幅に上回ったと推測。



10月動向

- 10月の訪日外客数は、3,312,000人で、前年同月比では31.6%増、2019年同月比では32.7%増と、過去最高であった2024年7月の3,292,602人を上回り、単月過去最高を記録した。また、10月までの累計は30,192,600人となり、1964年の統計開始以来、過去最速で3,000万人を突破した。
- 紅葉シーズンを迎え、多くの市場で訪日需要の高まりがみられたほか、東アジアでは中国、東南アジアではシンガポール、欧米豪・中東地域では米国などで前年同月に比べて訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 1月からの累計では、23市場のうち、年間の累計での過去最高を9月時点で更新した5市場（豪州、メキシコ、ドイツ、イタリア、中東地域）に加え、今月は新たに6市場（台湾、フィリピン、インド、米国、カナダ、スペイン）において過去最高を更新した。
- 昨年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

出典：日本政府観光局(JNTO)11/20プレスリリース「訪日外客数(2024年10月推計値)」

交通機関に関する情報

航空業界の状況／クルーズ船の状況

関西国際	7月	8月	9月
総旅客数(人)	2,660,130	2,791,099	2,498,781
2019年比	95%	97%	101%
国際線 発着数(回)	12,411	12,800	12,287
2019年比	90%	93%	97%
国際線 旅客数(人)	2,071,423	2,147,887	1,896,884
2019年比	94.9%	96.6%	101.1%
うち外国人 旅客数(人)	1,675,007	1,583,376	1,411,720
2019年比	109.2%	114.5%	121.4%
国内線 旅客数(人)	588,707	643,212	601,897
2019年比	96%	98%	101%

神戸	7月	8月	9月
国内線 発着数(回)	2,621	2,738	2,846
2019年比	106%	101%	102%
国内線 旅客数(人)	308,563	333,576	315,117
2019年比	110%	101%	104%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

・関西国際、大阪国際（伊丹）、神戸の3空港合わせての国際線旅客数は、外国人旅客数が946万人で年度上半期として過去最高を記録するなど、国際線旅客数全体の回復を強く牽引しました。そのうち、関西国際空港においては、国際線発着数こそ2019年を下回りましたが、総旅客数・国際線の外国人旅客数・国内線旅客数においては2019年を上回りました。

・神戸空港発着回数は、前年同期間比98%、2019年比102%。旅客数は、前月同期間比106%、2019年比104%。

📄 [直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は43ページ、](#)
[2024年9月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は44ページへ](#)

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。





(人数)	5月	6月	7月	8月	前年 同月比	2019年 同月比
英国	5,222	4,238	4,786	4,658	151%	109%
フランス	9,190	4,971	7,655	6,319	163%	133%
豪州	11,348	10,868	7,848	7,226	207%	195%
米国	25,166	35,498	28,727	17,799	132%	126%
中国	193,030	230,239	262,350	266,116	176%	79%
台湾	114,491	128,800	120,259	121,122	121%	131%
香港	61,059	71,721	80,793	71,410	124%	152%
韓国	217,128	198,061	195,805	153,122	88%	192%
タイ	29,473	15,614	14,179	8,442	93%	79%
マレーシア	13,024	6,687	5,112	5,006	85%	99%
インドネシア	8,502	9,942	6,449	4,838	111%	142%
シンガポール	17,396	15,632	6,152	5,679	121%	139%
合計	705,029	732,271	740,115	671,737	127%	111%

オーストラリアに関しては前年同月比が200%を超えとなっている。関空への直行便が2023年比257%となっており、送客能力がアップしたことが要因の一つと考えられる。

韓国からの入国者数は2019年同月比200%近くまで伸びている。関空への韓国便数は2019年比97%だが、2019年は日韓情勢が不安定だったことや韓国経済の低迷もあり、訪日旅行控えの動きが出ていたことが影響し、2019年8月の訪日者数が下降気味だったことで2019年比が伸びたと考えられる。

タイにおいては2019年同月比で79%となっている。関空への直行便数が2019年比で2便（1週間あたり）少ないことに加え、今年1月からの査証免除措置による訪中旅行への人気の高まりが続いていることが要因と考えられる。

ターゲット12か国合計、前年同月比127%

ターゲット12か国合計、2019年同月比111%

▶ ランキング及び前年同月比

- ・1位 中国：266,116人 / 176%（前年同月比） 79%（2019年同月比）
- ・2位 韓国：153,122人 / 88%（前年同月比） 192%（2019年同月比）
- ・3位 台湾：121,122人 / 121%（前年同月比） 131%（2019年同月比）

▶ 相変わらず中国の戻りが加速しており、今月も入国者数1位となった。

※2024.10月速報値

関西国際空港入国者数：829,341人（9月：738,390人、8月：762,632人）

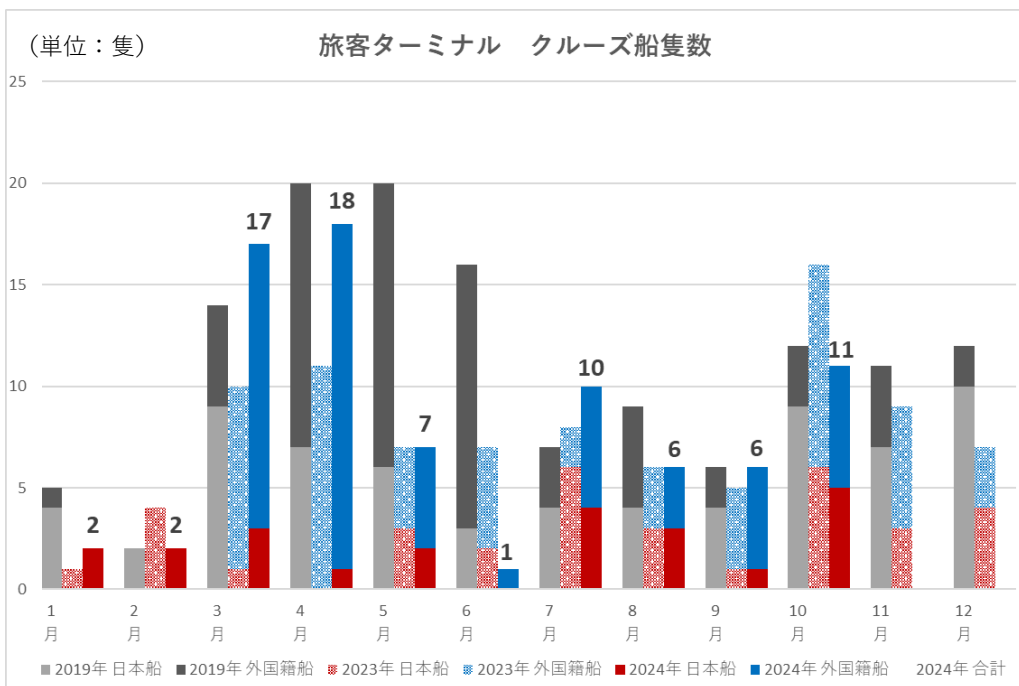
※ターゲット国12か国を含めた全入国者数

前年同月比 ≒ 127%

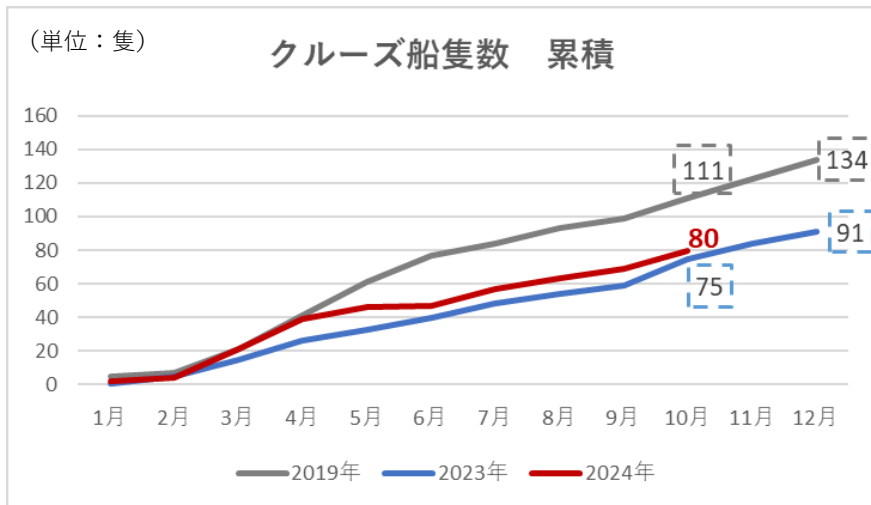
【クルーズ船 隻数】

クルーズ船寄港実績		10月分				
		2024年	2023年	前年比	2019年	2019年比
日本船	隻数	5	6	83%	9	56%
外国籍船	隻数	6	10	60%	3	200%
総合計	隻数	11	16	69%	12	92%
	船客数	12,223	16,473	74%	14,498	84%

(参考グラフA) クルーズ船 隻数 月別推移



(参考グラフB) クルーズ船 隻数の累積



2024年10月

日本船 : 5隻

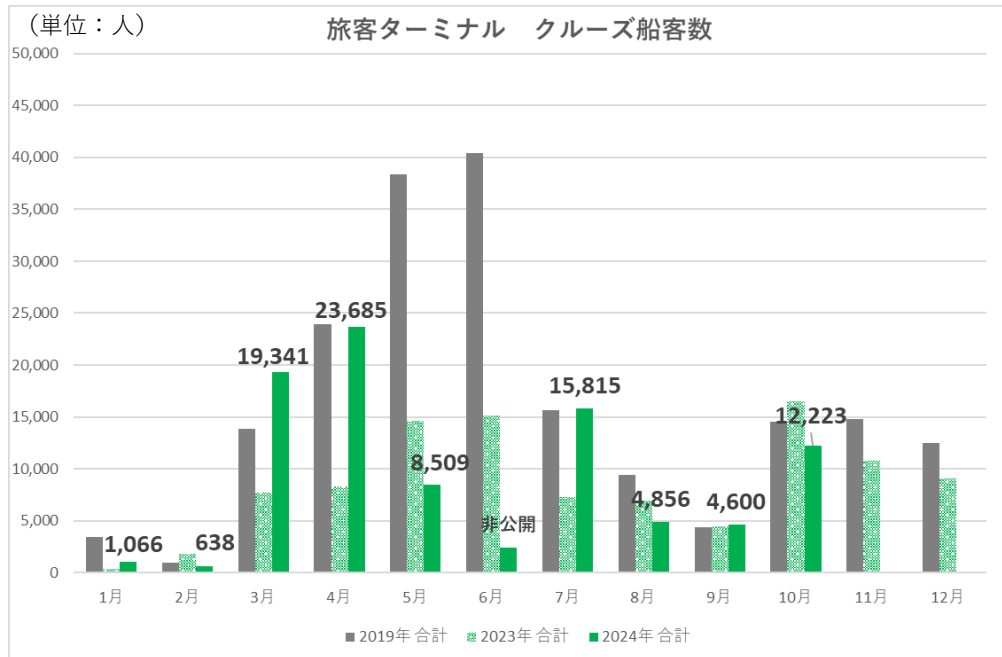
外国籍船 : 6隻

合計 : 11隻 が入港

- ・ 合計隻数は11隻で、昨年比69%となった。2019年同月比では92%。
- ・ 累積では2019年比72%となりまだ下回っているが、2023年比では107%と上回っている。

【クルーズ船 船客数】

(参考グラフC) クルーズ船 船客数 月別推移



クルーズの乗船客 市内観光案内所に立ち寄る

10/2 ル・ソレアルの入港により、三宮・新神戸の観光案内所に多くの欧州系の乗船客が訪れた。神戸ビーフや海鮮のレストランの質問が相次いだ。中突堤旅客ターミナルへ戻るためのアクセス質問もあった。

10/9 午後セブンシーズ・エクスプローラー乗船客の欧米観光客の来所が急増した。布引の滝〜ハーブ園の質問や神戸ビーフレ스토랑の質問が多かった。

10/20 北野案内所へセブンシーズ・エクスプローラーの乗船客（欧米系）の来所が増えた。

客船クラス情報

カジュアルクラス

大型客船が中心で、エンターテインメント性が重視される。

クルーズ初心者が挑戦しやすいランク。

プレミアムクラス

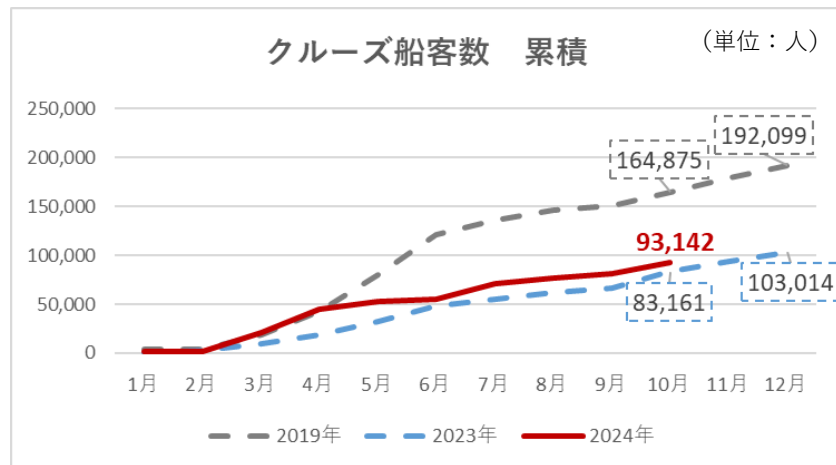
中大型客船が中心で、船内は落ち着いたイメージ。ワンランク上のサービスや施設を楽しむことが可能。

ラグジュアリークラス

中小型客船が中心となり、質の高いサービスを受けられる。大型客船では入港出来ない小さな港への訪問が可能なのも魅力。

10/3には中国初の国産クルーズ船「アドラ・マジック・シティ」が中国人の乗船客約5,000名を乗せて神戸に初入港した。ターミナルと市街地を結んでいるシャトルバスは超満員で、多くの乗船客やクルーが神戸の街へ繰り出していた。

(参考グラフD) クルーズ船 船客数の累積



【クルーズ船】12月の入港予定情報

神戸



「ミツイ オーシャン フジ」が神戸発着のデビュークルーズを行います。

・外国客船「ミツイ オーシャン フジ」が「にっぽん丸」でおなじみの商船三井クルーズ株が運営する新たなクルーズブランド「MITSUI OCEAN CRUISES」よりデビューします。

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 クルー除く	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
パシフィック ワールド	12/2(月)13:00~12/3(火)9:00	77,441トン	2,010名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	12/7(土)6:30~12/7(土)17:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
パシフィック ワールド	12/11(水)13:00~12/11(水)17:00	77,441トン	2,010名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	12/14(土)6:00~12/15(日)2:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	12/18(水)9:00~12/18(水)17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
ミツイ オーシャン フジ	12/19(木)12:00~12/19(木)19:00	32,346トン	458名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	12/20(金)9:00~12/20(金)17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
にっぽん丸	12/20(金)9:00~12/20(金)17:00	22,472トン	449名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	12/21(土)6:30~12/21(土)17:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル
ミツイ オーシャン フジ	12/23(月)7:00~12/23(月)15:00	32,346トン	458名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
にっぽん丸	12/23(月)9:00~12/23(月)17:00	22,472トン	449名	日本人	プレミアム	中突堤ターミナル
バイキング・エデン (ZHAO SHANG YI DUN)	12/28(土)6:30~12/29(日)2:00	47,842トン	930名	日本人他	ラグジュアリー	ポートターミナル



▲ミツイ オーシャン フジ



▲バイキング・エデン

・12/19「ミツイ オーシャン フジ」出港時などに歓送演奏が予定されています。
詳しくは「神戸観光局 港湾振興部」ホームページにてご確認ください。

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。 [神戸市：客船入港予定 \(kobe.lg.jp\)](http://kobe.lg.jp)

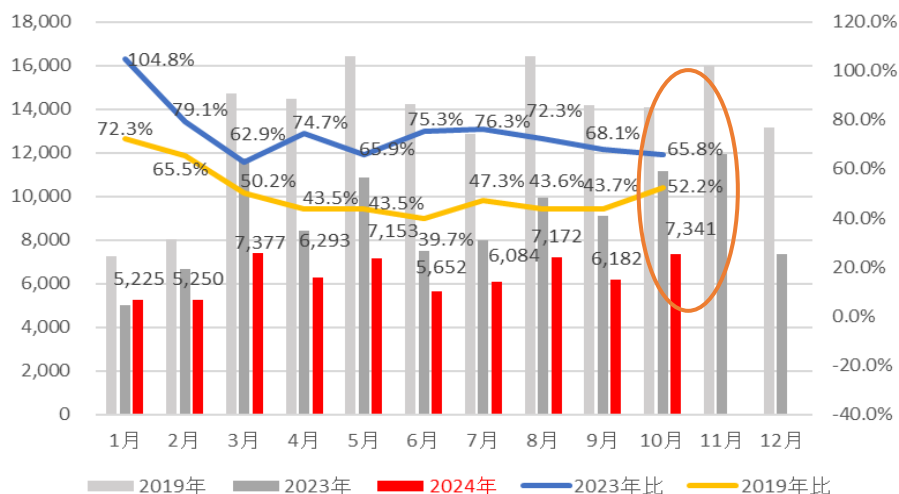
※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。

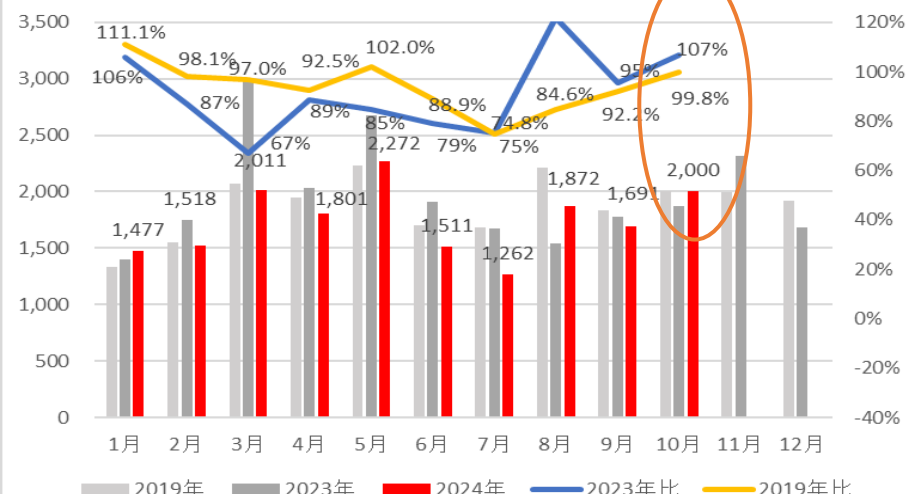
神戸市内観光に関する情報

～神戸観光局オリジナルデータ～

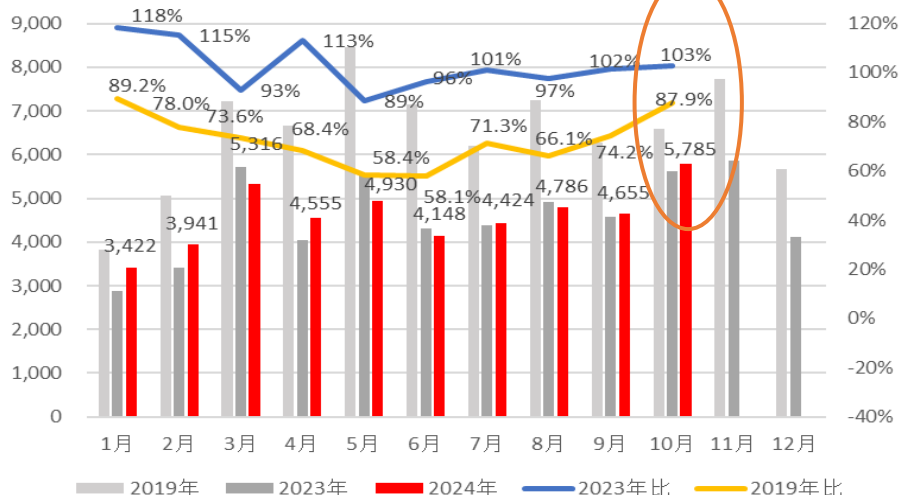
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター（JR三ノ宮駅東口南）

前年同月比65.8%、2019年同月比52.2%

※駅前工事の影響で、来館者の減少が続いている。

○北野観光案内所（北野異人館街）

前年同月比107%、2019年同月比99.8%

○新神戸駅観光案内所（JR新神戸駅構内、改札前）

前年同月比103%、2019年同月比87.9%

10月案内所全体件数 15,126件 ⇒ 前年同月比81.1% 2019年同月比 66.8%

国・地域	総合IC	北野	新神戸	合計	割合	
アジア	韓国	228	130	55	413	7.2%
	中国	574	207	120	901	15.6%
	台湾	128	100	85	313	5.4%
	香港	114	23	20	157	2.7%
	タイ	110	17	29	156	2.7%
	シンガポール	39	10	44	93	1.6%
	マレーシア	24	11	4	39	0.7%
	インドネシア	23	5	14	42	0.7%
	フィリピン	25	5	39	69	1.2%
	ベトナム	0	0	1	1	0.0%
	インド	16	4	65	85	1.5%
	パキスタン	6	0	0	6	0.1%
	バングラデシュ	0	0	0	0	0.0%
	その他アジア	1008	0	128	1136	19.7%
中東	イスラエル	0	0	17	17	0.3%
	トルコ	0	1	0	1	0.0%
	イラン	1	0	0	1	0.0%
	その他中東	7	0	2	9	0.2%
ヨーロッパ	英国	12	10	49	71	1.2%
	フランス	43	48	103	194	3.4%
	イタリア	5	5	19	29	0.5%
	ロシア	3	0	4	7	0.1%
	ギリシャ	0	0	4	4	0.1%
	アイルランド	0	0	2	2	0.0%
	その他ヨーロッパ	635	70	131	836	14.5%
アフリカ	南アフリカ共和国	0	0	4	4	0.1%
	エジプト	0	0	0	0	0.0%
	その他アフリカ	17	0	1	18	0.3%
北アメリカ	米国	69	46	183	298	5.2%
	カナダ	20	24	29	73	1.3%
	メキシコ	5	0	9	14	0.2%
	その他北米	17	0	0	17	0.3%
南アメリカ	ブラジル	8	2	7	17	0.3%
	アルゼンチン	3	1	4	8	0.1%
	コロンビア	3	2	2	7	0.1%
	その他中南米	22	5	8	35	0.6%
オセアニア	オーストラリア	23	12	81	116	2.0%
	ニュージーランド	6	0	10	16	0.3%
	その他オセアニア	3	0	0	3	0.1%
地域不明	2	13	547	562	9.7%	
	(人)	3199	751	1820	5770	100.0%

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,199人（約7割がアジア系）、2019年同月比54%、前年同月比85%
- ・10月に入り、欧米系外国人が増加傾向にあり、個人旅行の方が目立つ。アジア系の方はある程度下調べをされて、周遊バスを利用しての市街地観光や企画切符を購入して六甲山・摩耶山観光をされるが、欧米系の方は市内の観光地をあまりご存じでなく、ゼロから尋ねてこられるケースが多い。
- ・ヨーロッパからの観光客が神戸牛の牧場に行きたいと来館される。神戸牛が実際に見たいとおっしゃるのはヨーロッパの方が多い。牧場は主に兵庫県北部にあり、基本的に一般公開しているところはないので現時点では説明が難しい。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者751人、2019年同月比85%、前年同月比106%
- ・外国人の中ではアジア系が最も多くトータルで512名、外国人全体の約70%を占めた。
- ・アジア系の中では中国207名（40%）韓国130名（25%）台湾100名（20%）が上位。
- ・前年同月（709名）と比較して約6%の増加であったが、エリア別にみるとアジア：564名⇒512名（90%）欧州：86名⇒133名（155%）北米：35名⇒70名（200%）分母は小さいが欧米の増加が目立った月であった。アジアでは中国の伸長（131名⇒207名：160%）が目立っていた。
- ・質問としては、各異人館の場所、割引券、トイレの場所、夜景、ハーブ園、南京町、神戸ステーキ、神戸のお土産品、ポートタワー、スマホの充電、シティループの運行時間、灘の酒蔵、摩耶山、港方面、有馬温泉への行き方などの質問がありました。スタンプは相変わらず人気がある。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,820人、2019年同月比195%、前年同月比101%
- ・新しく設置した案内所スタンプが大人気。お客様との話も広がりやすい。
- ・摩耶山のハイキングは、引き続き人気。欧州からもハイキングをするため来神される。
- ・ハローキティの新幹線に関する事や、子供の為新幹線の形の駅弁を予約したいなど。明石海峡大橋に登るツアーにどうしても参加したいが、ホームページが日本語のみなので、手伝いを希望する方もおられた。特定の希望をもった方の来所が増えている印象。灘の酒蔵巡りに興味を持たれるアメリカの方や、フランス語のパンフレットが欲しいとおっしゃる方、新幹線の路線図や、日本全国もしくは、四国や瀬戸内、東北などの特定の地域の地図はないかとのお尋ねも時々あり。

10月案内所全体件数 5,770件 ⇒ 前年同月比90.4%
2019年同月比74.6%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・10月中下旬～11月中旬は平日320件ほど、休日425件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、ご年配の夫婦、ご年配の女性グループ（2～4名程度）の来所が多くなってきた。
・インバウンドは、アジア系の来所は引き続き多いが、欧州の方の来所が目立つようになってきた。
- 〔行き先〕 ・国内、六甲山・摩耶山・布引の滝・ハーブ園・有馬温泉・酒蔵・北野ノスタ・中華街（南京町）など。
・アジア系、ハーブ園・有馬温泉・六甲山・異人館・神戸牛レストラン・どうぶつ王国など。
・欧米系、六甲山・摩耶山・布引の滝・ハーブ園・メリケンパーク・有馬温泉など。
- 〔内容〕 ・涼しくなり、国内外共に六甲山や摩耶山、布引の滝などハイキングに関する問合せが急増。
・特に秋の草花鑑賞としてハーブ園や六甲山系の森林植物園や高山植物園への質問が多かった。
・欧米系では六甲山へのハイキングから有馬温泉へ向かうルートへの問い合わせが増えてきた。
・「灘の酒蔵謎解き探訪」や「神戸の山にでかけよう」スタンプラリーのチラシや台紙の求めが多かった。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時（3月～10月）

9-17時（11月～2月）

- 〔件数状況〕 ・10月中下旬～11月中旬は平日85件ほど、休日105件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、ご年配の夫婦、男女とも単独・グループの年配層が多い。修学旅行生や校外学習生も多かった。
・インバウンドは、アジア系のファミリー層やグループが多かった。
- 〔行き先〕 ・国内、異人館全般・布引の滝・ハーブ園・中華街（南京町）・ベイエリア・レストランなど。
・インバウンド、異人館全般・布引の滝・ハーブ園・ベイエリア・六甲山など。
- 〔内容〕 ・国内では中高年女性グループからレストラン（北野ノスタ・神戸牛・ベーカリー）の問合せが多い。
・海外（欧州系）の方からは、六甲山系や布引の滝へのハイキング関係の質問が多かった。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔件数状況〕 ・10月中下旬～11月中旬は平日245件ほど、休日295件ほど。
- 〔客層〕 ・国内、ご年配夫婦・ご年配の女性グループ・学会参加者やイベント参加者など。
・インバウンド、変わらずアジア系（特に中国人）のグループやファミリーが多かった。
- 〔行き先〕 ・国内、市内観光・ハーブ園・布引の滝・有馬温泉・六甲山・摩耶山・淡路島&徳島&高松など。
・インバウンド、ハーブ園・布引の滝・有馬温泉・六甲山・摩耶山・神戸牛レストランなど。
- 〔内容〕 ・布引の滝～ハーブ園、六甲山、摩耶山のハイキングや有馬温泉へのアクセスの質問が多かった。
・国内旅行者からは、淡路島～徳島～高松への高速バスに関する問合せが非常に多かった。

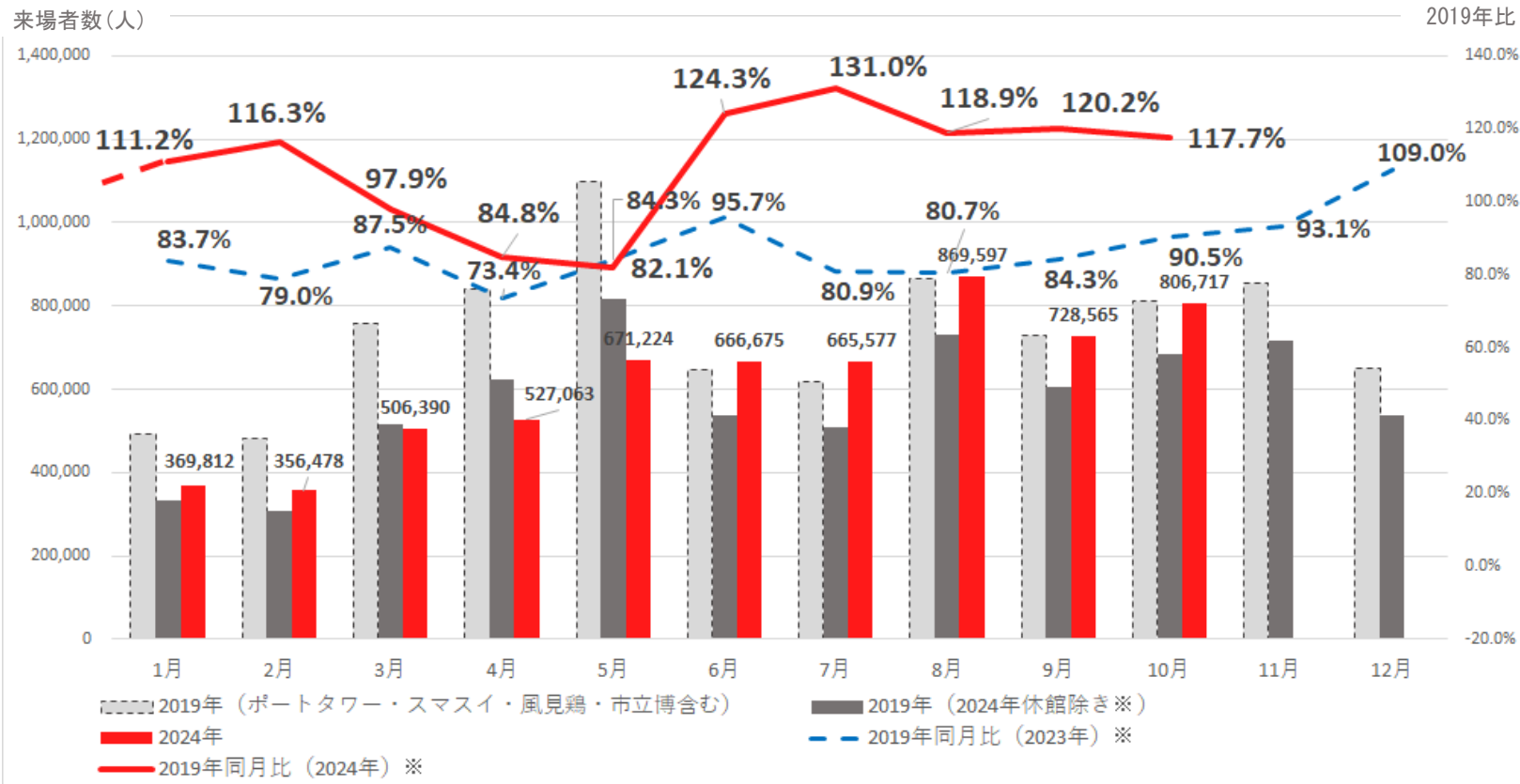
主要市内観光施設来場者数 (2024.10)

神戸



行楽シーズンに入り、団体客が増えてきた施設が見受けられる。インバウンド観光客は、引き続きアジア圏旅行者が多いが、施設によっては欧米のお客様の利用も増えてきている。

来場者数(人)



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較 (2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館) (2024年1月～：ポートタワー、スマスイ、風見鶏の館、神戸市立博物館、北野工房のまち、

4月～：スマスイ、風見鶏の館、北野工房のまち、6月～：風見鶏の館、北野工房のまち)

※2019年の来場者数は、2024年時点で改修中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年 (ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む)	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年 (2024年休館除き※)	332,680	306,441	517,159	621,394	817,589	536,380	507,947	731,188	606,214	685,602	716,483	538,109	6,917,186
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646	580,809	6,632,715
2024年	369,812	356,478	506,390	527,063	671,224	666,675	665,577	869,597	728,565	806,717			6,168,098
2019年同月比 (2023年) ※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%	109.0%	
2019年同月比 (2024年) ※	111.2%	116.3%	97.9%	84.8%	82.1%	124.3%	131.0%	118.9%	120.2%	117.7%			

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

集計対象施設：全20施設 (ラインの館、神戸ポートタワー、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など) 34

神戸市内大型施設の主な催事情報(12月) 11月22日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



12月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール
1週目	1日 Fan fun Talk 大竹耕太郎		1日 2NE1 15:00～ 4日 宮本浩次 18:30～ 5日 宮本浩次 18:30～ 7日 JO 1 18:00～	2日 島津亜矢 14:00～ 4日 スキマスイッチ 18:30～ 5日 童謡コーラス大合唱会 13:00～ 6日 YUKI 19:00～ 7日 YUKI 16:00～
2週目	15日 Fan fun Talk 熊谷敬宥	11日 進路フェスタ2024 in 神戸会場 14日 リトル・ママフェスタ2024Dec	8日 JO 1 ①12:30～ ②18:00～ 11日 JO 1 18:30～ 12日 JO 1 18:30～ 14日 D-LITE 17:00～	8日 FRUITS ZIPPER 18:00～ 11日 志麻、あほの坂田 18:30～ 14日 ORANGE RANGE 17:30～
3週目		21日 マイナビインターンシップ&キャリア 発見フェア神戸会場	15日 D-LITE 16:00～ 21日 NiziU 18:00～	18日 南の島の歌姫たち 18:30～ 19日 アロージャズオーケストラ withクリス・ハート 18:00～ 21日 吉川晃司 17:00～
4週目			22日 NiziU 16:00～ 27日 浦島坂田船の大忘年会 18:00～ 28日 浦島坂田船の大忘年会 17:00～	22日 第九コンサート 16:00～ 23日 槇原敬之 18:30～ 24日 槇原敬之 18:30～ 27日 ハナレグミ 19:00～ 28日 角松敏生 18:00～
5週目				29日 初音ミク 18:00～

12月	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目	3日 劇団東京ヴォードヴィルショー 19:00～ 4日 劇団東京ヴォードヴィルショー 13:30～ 7日 市民の第九2024 14:30～	7日 神戸市障害者ふれあいロードレース /ユニバー記念競技場 7~8日 全日本女子車いすバスケットボール選手権&全国 シニア選抜車いすバスケットボール大会 /グリーンアリーナ神戸	
2週目	8日 綾小路きみまろスーパーライブ 14:00～ 14日 貞松・浜田バレエ団クリスマス公演 「くるみ割り人形」 15:00～ 15日 貞松・浜田バレエ団クリスマス公演 「くるみ割り人形」 15:00～	8日 朝日新聞社神戸市少年サッカーBリーグ /ユニバー記念競技場 14~15日 フットサルフェスタ2024 /グリーンアリーナ神戸	8日 ヴィッセル神戸vs湘南ベルマーレ/J1 League 14:00～ 14日 槇野智章引退試合 MAKINO JAPAN vs KOBE STARS 16:00～
3週目	21日ヴェルディ:オペラ「ファルスタッフ」 14:00～	21日 キッズサッカーフェスティバル /ユニバー記念競技場	15日 クリスマスイベント(クリスマスマーケット& スタジアムツアー)
4週目	22日 西神戸吹奏楽団定期演奏会 14:00～ 22日 ムジカリネン山手第13回演奏会 13:30～ 26~27日 兵庫県アンサンブルコンテスト神戸地区大会 28日 フェニックスフィルハーモニックオーケストラ 第15回演奏会 14:00～	22日 朝日新聞社神戸市少年サッカーAリーグ /ユニバー記念競技場 24~28日 全国小学生バドミントン選手権大会 /グリーンアリーナ神戸 25~28日 全国私立中学校テニス選手権大会 /テニスコート	
5週目			29日 コベルコ神戸スティーラーズvs横浜キャノン イーグルス /ラグビーリーグワン 時間未定

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(25年1月) 11月22日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



1月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール
1週目				2日 新春吉本お笑いバラエティショー 3日 新春吉本お笑いバラエティショー 4日 新春吉本お笑いバラエティショー ※各日 ①11:00～ ②15:00～
2週目				5日 新春吉本お笑いバラエティショー ①11:00～ ②15:00～
3週目	12日～17日 IEEE 802 Wireless Interim Session		12日 第10回リアルチャンピオンシップ 決勝大会 第5回全日本高等学校空手道選手権大会 18日 MBSアニメフェス2025 15:30～	13日 伊藤蘭 17:00～
4週目	23～24日 The 7th R-CCS International Symposium	19日 マイナビ看護学生就職セミナー 25～26日 第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	19日 MBSアニメフェス2025 16:30～ 25日 AIMYON (あいみょん) 18:00～	19日 神戸国際taiko音楽祭2025 15:00～ 20日 SUPER BEAVER 19:00～ 21日 SUPER BEAVER 18:00～
5週目			26日 AIMYON (あいみょん) 17:00～ 28日 サザンオールスターズ 18:30～ 29日 サザンオールスターズ 18:30～	26日 桂文珍独演会 14:00～ 29日 荻野目洋子 18:30～

1月	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋	ノエビアスタジアム神戸 ※一部抜粋
1週目		4日 第55回全国高校専門学校ラグビーフットボール大会 ／ユニバー記念競技場 4～6日 新春神戸カップ／グリーンアリーナ神戸	
2週目	11日 神戸フィルハーモニックニューイヤーコンサート 14:00～	5・7・9日 第55回全国高校専門学校ラグビーフットボール大会 ／ユニバー記念競技場	
3週目	12日 KOBE国際音楽コンクール 9:15～ 13日 KOBE国際音楽コンクール 9:30～ 17日 竹下景子～詩の朗読と音楽の夕べ 18:30～ 18日 陸上自衛隊中部方面音楽隊阪神淡路大震災30年 祈念特別演奏会 14:00～	13日 神戸チャレンジカップ／グリーンアリーナ神戸 18～19日 女子バレーSVリーグ 大阪マーヴェラスvs KUROBEアクアフェアリーズ／グリーンアリーナ神戸 両日とも13:05～	13日 神戸市はたちを祝う会 13:00～
4週目	23日 マスクプレイミュージカル「ピーターパン」 ①10:15～ ②13:00～ 24日 日本ケアマネジメント学会シンポジウムIN神戸 10:30～ 25日 レクイエム・プロジェクト神戸2025 13:45～	23～26日 全国卓球大会／グリーンアリーナ神戸	19日 コベルコ神戸スティーラーズvs. 浦安D-Rocks ／ラグビーリーグワン 時間未定
5週目	26日 PRAY FROM KOBE2025明日につなげるコンサート 13:30～ 26日 第52回兵庫県アンサンブルコンテスト 時間未定	26日 コープこうべS&Bちびっこ健康マラソン ／ユニバー記念競技場	

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

神戸市内大型施設の主な催事情報(25年2月) 11月22日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



2月	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目			1日 チェルフィッシュ×藤倉大with神戸市室内管弦楽団 「リビングルームのメタモルフォーシス」 14:00～	1日 コベルコ神戸スティーラーズvsリコーブラック ラムズ東京 ラグビーリーグワン/ユニバー記念競技場 12:00～ 1~3日 兵庫県高校新人バスケットボール大会兼近畿 高校バスケットボール 新人大会兵庫県予選/グリーンアリーナ神戸
2週目			2日 チェルフィッシュ×藤倉大with神戸市室内管弦楽団 「リビングルームのメタモルフォーシス」 14:00～ 8日 なかよしフェスティバル 13:00～ 8日 劇団民藝「グレイクリスマス」 18:30～	8日 コベルコ神戸スティーラーズvs東京サントリー サンゴリアス ラグビーリーグワン/ユニバー記念競技場 時間未定
3週目	11日 FREDERIC (フレデリック) 18:00～ 14日 Vaundy (バウンディ) 18:00～ 15日 Vaundy (バウンディ) 16:00～	15日 細川たかしー門 14:00～	9日 劇団民藝「グレイクリスマス」 13:30～	12~14・20日 スプリングカップ2025ママさん バレー大会/グリーンアリーナ神戸 15・16・22・24日 第76回近畿高校ラグビーフット ボール大会/ユニバー記念競技場
4週目		19日 SIGUR ROS (シガー ロス) 19:00～		15~16日 近畿総合バドミントン選手権大会シニア の部/グリーンアリーナ神戸 18~19日 VICTAS杯西日本レディース大会 /ユニバー記念競技場
5週目		27日 大阪フィルハーモニー交響楽団 ×神戸市混声合唱団 祈りのコンサート阪神淡路大震 災30年メモリアル 19:00～	23日 神戸アンサンブルソロイスツコンサート 13:30～	23日 神戸ユニバーリレーマラソン /ユニバー記念競技場 23~24日 JFA第30回全日本フットサル選手権大会 /グリーンアリーナ神戸

※神戸国際会議場・神戸国際展示場・ノエビアスタジアム神戸の情報は公開次第、次号のマンスリーレポートにて掲載いたします。

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2024年10月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

全国

外国人



国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 10月	2024年 10月	伸率(%)	2019年 1月～10月	2024年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,496,568	3,312,000	32.7	26,914,388	30,192,600	12.2
韓国	South Korea	197,281	732,100	271.1	5,131,596	7,200,800	40.3
中国	China	730,631	582,800	-20.2	8,133,209	5,830,500	-28.3
台湾	Taiwan	413,701	478,900	15.8	4,150,231	5,064,800	22.0
香港	Hong Kong	180,562	198,800	10.1	1,841,448	2,170,700	17.9
タイ	Thailand	145,333	132,200	-9.0	1,013,776	884,200	-12.8
シンガポール	Singapore	41,937	68,800	64.1	326,581	459,100	40.6
マレーシア	Malaysia	48,864	55,100	12.8	358,355	373,200	4.1
インドネシア	Indonesia	34,094	43,200	26.7	316,363	393,800	24.5
フィリピン	Philippines	64,690	80,200	24.0	466,809	623,000	33.5
ベトナム	Vietnam	46,510	51,000	9.7	422,553	530,900	25.6
インド	India	13,929	21,700	55.8	149,294	192,500	28.9
豪州	Australia	51,563	90,200	74.9	500,791	727,500	45.3
米国	U.S.A.	153,363	278,500	81.6	1,430,370	2,238,600	56.5
カナダ	Canada	37,667	66,500	76.5	306,814	483,800	57.7
メキシコ	Mexico	7,385	19,200	160.0	58,752	126,300	115.0
英国	United Kingdom	68,401	51,600	-24.6	358,820	369,800	3.1
フランス	France	39,457	49,400	25.2	291,782	333,200	14.2
ドイツ	Germany	26,276	43,300	64.8	203,380	284,900	40.1
イタリア	Italy	14,731	25,100	70.4	139,223	193,800	39.2
スペイン	Spain	13,739	23,400	70.3	112,413	152,900	36.0
ロシア	Russia	14,348	15,700	9.4	98,068	79,500	-18.9
北欧地域	Nordic Countries	15,094	18,700	23.9	118,974	127,800	7.4
中東地域	Middle East	11,955	20,900	74.8	79,770	134,600	68.7
その他	Others	125,057	164,700	31.7	905,016	1,216,400	34.4

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

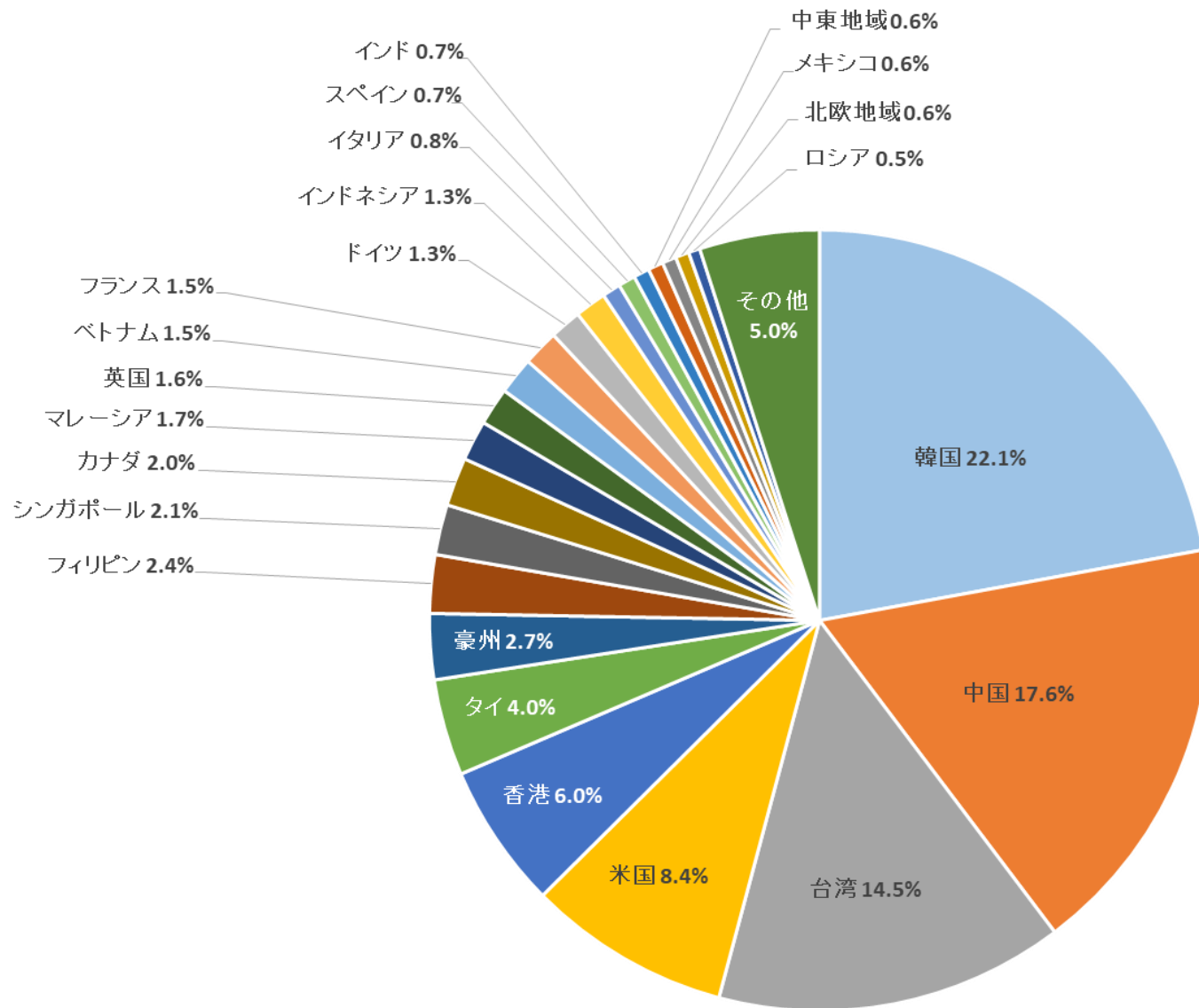
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

※赤マーカー…年間の累計での過去最高を9月時点で更新した国・地域

※黄マーカー…年間の累計での過去最高を10月時点で更新した国・地域

2024年10月訪日外客数の各国・地域別の内訳

全国 外国人



※北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

宿泊タイプ別客室稼働率

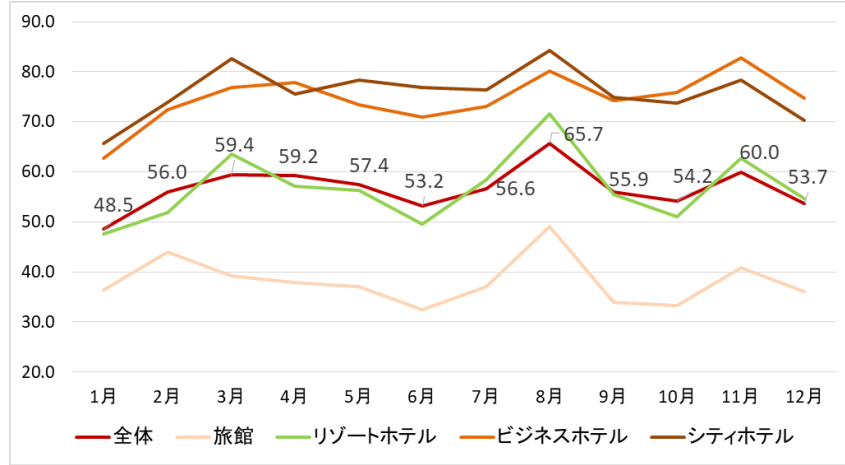
全国 関西



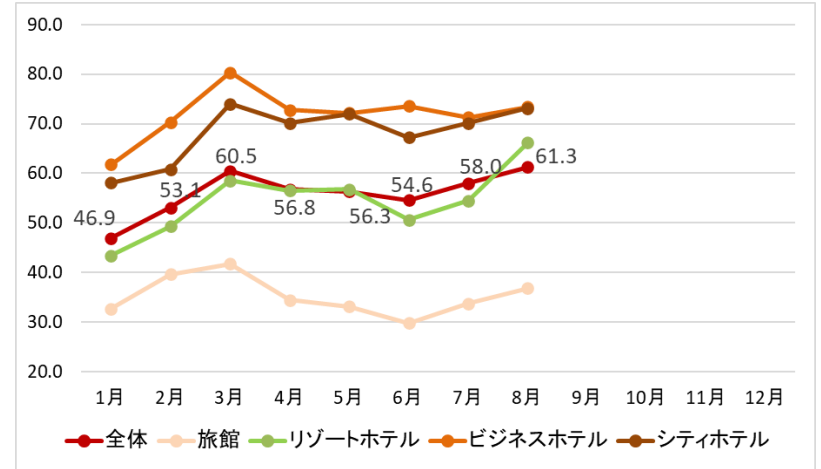
2019年／2024年比較

【兵庫県】

(2019年)

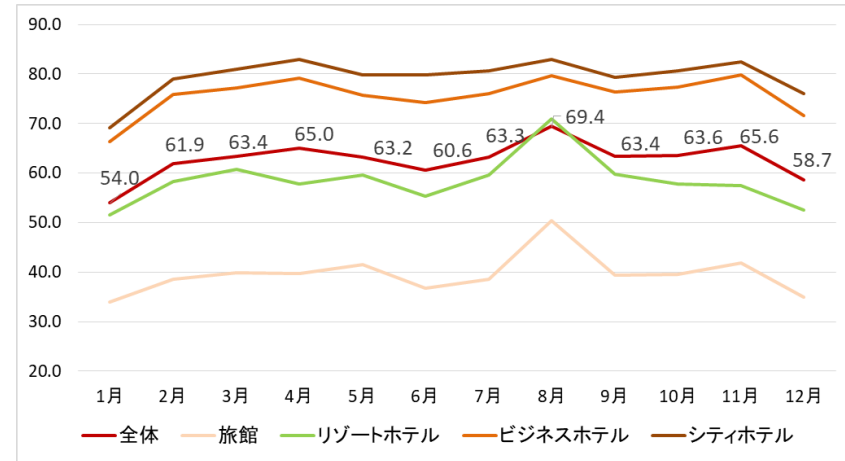


(2024年)

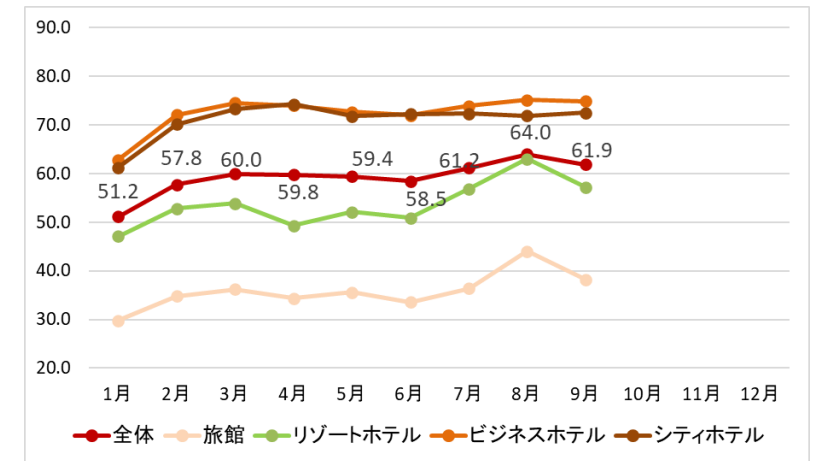


【全国】

(2019年)



(2024年)



世界の運航状況

2023年11月と比較した2024年11月の座席数

地域	前年比
世界	105%
西欧	105%
東欧	111%
北米	102%
中米	101%
南米	107%
東アジア	106%
東南アジア	111%
中東	106%
太平洋（豪州ほか）	99.7%

出典：OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出
<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

今月最大の国ペアはメキシコとアメリカの410万席で、2番目に大きいペアに83万2,000席の差をつけている。成長率が最も高い4つの国の組み合わせのうち3つは中国で、中国と日本（+73.0%）、中国とタイ（+70.7%）、中国と韓国（+20.1%）となっている。

世界の座席利用率(2024年9月)

ポイントは2023年同月差
 ※PLF

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	83.1% 3.2p	82.6% 0.5p	日本	81.7% 5.9p
欧州	86.5% 0.3p	85.9% 0.2p	中国	84.2% 7.4p
北米	82.4% -0.9p	84.4% -1.1p	インド	83.1% -2.4p
中南米	83.4% -0.3p	84.3% -1.1p	米国	81.3% -0.6p
中東	81.4% 0.0p	81.4% -0.1p	豪州	86.3% 1.8p
合計	83.6% 1.0p	83.8% 0.1p	合計	83.3% 2.4p

出典：IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

※PLF（passenger load factor, load factor）
 客の入り（満席度合い）を示す値

- 9月の航空業界全体の旅客キロ（RPK）は前年同月比7.1%増となり、9月としては過去最高を記録した。国際線旅客数は前年同月比9.2%増となった。
- 国内線輸送量は前年同期比3.7%増となった。中国が7.7%の伸びで引き続きトップ。

※RPK（Revenue Passenger-Kilometers）
 各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2023年10月～2024年9月)

11月12日時点

関西



関西国際	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総旅客数(人)	2,283,045	2,248,330	2,343,066	2,219,780	2,344,914	2,589,988	2,393,050	2,487,602	2,507,437	2,660,130	2,791,099	2,498,781
2019年比(%)	91%	88%	92%	85%	94%	90%	87%	90%	93%	95%	97%	101%
国際線 発着数(回)	10,361	10,422	11,168	11,128	10,504	11,787	11,504	11,973	11,684	12,411	12,800	12,287
2019年比(%)	81%	81%	81%	81%	88%	88%	87%	89%	88%	90%	93%	97%
外国人 旅客数(人)	1,331,393	1,315,362	1,462,590	1,388,558	1,454,941	1,471,730	1,588,937	1,574,809	1,625,800	1,675,007	1,583,376	1,411,720
2019年比(%)	101.7%	99.5%	110.4%	97.6%	105.3%	104.8%	101.3%	106%	105.9%	109.2%	114.5%	121.4%
国内線 旅客数(人)	621,524	560,494	535,880	502,062	536,065	608,344	497,336	540,719	517,544	588,707	643,212	601,897
2019年比(%)	110%	99%	97%	91%	102%	95%	87%	90%	94%	96%	98%	101%

神戸	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内線発着 回数(回)	3,090	3,084	2,887	2,743	2,680	2,934	2,768	2,898	2,556	2,621	2,738	2,846
2019年比(%)	111%	109%	94%	98%	122%	118%	112%	110%	106%	106%	101%	102%
国内線 旅客数(人)	312,315	289,069	270,485	260,577	276,459	304,933	270,560	301,220	294,832	308,563	333,576	315,177
2019年比(%)	106%	97%	95%	93%	112%	106%	107%	109%	112%	110%	101%	104%

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2023年10月～2024年9月)

11月12日時点

神戸



路線	内容	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新千歳	旅客数(人)	50,225	43,196	42,492	46,235	52,002	53,622	40,345	51,845	58,105	61,055	62,184	63,809
	利用率(%)	79.2	70.4	66.3	73.5	88.5	84.9	56.0	71.0	84.4	82.7	84.4	89.4
青森	旅客数(人)	3,669	2,815	831	899	1,455	2,192	2,133	2,706	2,604	3,140	3,950	3,563
	利用率(%)	70.4	57.3	61.8	67.3	62.3	42.8	42.3	52.8	51.7	60.3	78.4	70.7
花巻	旅客数(人)	3,508	2,998	1,206	1,097	1,165	2,586	1,282	2,026	2,235	2,595	3,381	3,199
	利用率(%)	67.4	59.5	65.5	82.1	49.5	51.4	25.6	41.6	44.3	50.5	67.9	65.0
仙台	旅客数(人)	19,023	18,105	15,938	13,858	14,970	17,583	14,305	15,943	15,138	15,967	16,937	17,349
	利用率(%)	86.7	85.2	72.6	63.1	72.9	80.1	67.3	73.8	71.3	72.7	77.2	81.7
茨城	旅客数(人)	25,985	25,650	22,447	20,017	19,725	25,375	22,311	23,861	22,643	23,324	26,045	24,248
	利用率(%)	78.9	80.5	68.2	61.1	64.8	77.1	70.0	73.7	71.1	70.8	79.5	76.1
羽田	旅客数(人)	78,029	75,378	76,490	68,498	69,536	76,756	75,243	80,574	77,580	79,206	80,160	80,349
	利用率(%)	86.1	87.0	84.6	78.5	86.1	88.1	79.4	84.2	84.4	81.8	86.4	87.8
松本	旅客数(人)	8,125	7,173	5,498	5,280	5,100	6,308	4,385	5,407	5,788	6,556	5,891	6,416
	利用率(%)	78.0	73.3	54.6	53.0	55.2	62.6	43.8	54.9	58.9	64.3	59.5	64.4
高知	旅客数(人)	2,638	2,458	2,239	1,988	1,353	1,613	260	485	-	-	927	-
	利用率(%)	50.7	48.8	43.1	38.3	28.7	32.6	38.7	48.1	-	-	55.2	-
長崎	旅客数(人)	26,987	25,011	22,927	21,952	23,562	26,906	24,502	26,369	22,764	24,133	25,644	25,822
	利用率(%)	83.3	78.5	69.6	69.6	76.5	81.7	76.9	81.4	72.7	73.3	80.9	82.0
鹿児島	旅客数(人)	18,301	17,471	16,278	16,543	16,758	17,119	15,764	18,153	16,233	16,183	15,720	17,725
	利用率(%)	83.4	82.9	74.2	75.4	81.6	78.6	74.8	84.8	76.4	73.7	75.9	83.5
那覇	旅客数(人)	60,584	55,432	51,647	51,006	57,917	61,811	56,997	59,576	56,992	62,048	76,064	57,462
	利用率(%)	79.4	75.1	67.7	67.2	81.2	81.0	76.3	77.2	75.8	79.3	87.9	77.8
下地島	旅客数(人)	9,318	8,224	7,095	7,019	7,510	8,203	8,203	8,892	9,247	8,493	9,822	8,757
	利用率(%)	84.9	77.4	64.7	64.0	73.2	74.7	79.9	82.4	87.1	80.0	89.5	82.5
合計	旅客数(人)	306,392	283,911	265,088	254,392	271,053	300,074	265,730	295,837	289,329	302,700	326,725	308,699
	利用率(%)	81.4	78.1	71.6	69.8	79.2	80.6	70.2	76.8	77.7	77.7	83.2	82.7

※高知便は期間限定運航(4月27日～5月6日)(8月9日～8月19日)

出典:神戸市港湾局空港調整課「神戸空港利用状況」より一部抜粋